

CD/DVDプレーヤー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

 **警告** 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



DVP-S7700

**警告**

安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。



安全のための注意事項を守る

4～7ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。47ページの「使用上のご注意」もあわせてお読みください。

定期的に点検する

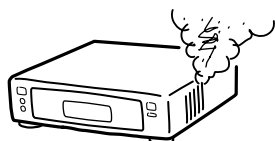
設置時や1年に1度は、電源コードに傷みがないか、コンセントと電源プラグの間にほこりがたまっていないか、プラグがしっかりさし込まれているか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口へ修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においが
したら、
煙が出たら



- ① 電源を切る
- ② 電源プラグをコンセントから抜く
- ③ お買い上げ店またはソニーサービス窓口へ修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

**警告**

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

**注意**

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電



指挟み

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



接触禁止



ぬれ手禁止

行為を指示する記号



強制



プラグをコンセントから抜く

目次

⚠警告・⚠注意	4
---------------	---

設置と準備

付属品を確認する	12
接続する	12
使う前に必要な設定をする	15

ここだけ読んでも使えます

DVDを再生する	16
CD/ビデオCDを再生する	20

その他の操作

テレビ画面表示の見かた	24
表示窓の見かた	26
繰り返し再生する(リピート再生).....	28
順不同に再生する(シャッフル再生).....	29
好きな順に再生する(プログラム再生).....	30
再生を止めたあと、そのつづきから再生する(つづき再生).....	31
画像の背景のちらつきをおさえる(DNR).....	32
音声を切り換える	32
字幕を表示する	33
アングルを切り換える	33
年齢による視聴制限をする	34
付属のリモコンでテレビやアンプを操作する	36
ドルビー*デジタルやMPEGオーディオ、DTS**のサラウンドを楽しむ	38

設定と調整

SET UP(設定)画面での設定/調整のしかた	41
表示言語や音声言語の設定(言語設定).....	42
画像に関する設定(初期設定1).....	43
音声に関する設定(初期設定2).....	44
出力信号に関する設定(初期設定3).....	45

その他

使用上のご注意	47
ディスクの取り扱い上のご注意	47
故障かな?と思ったら	48
保証書とアフターサービス	49
自己診断機能について(アルファベットで始まる表示が出たら).....	50
主な仕様	51
用語解説	52
各部のなまえ	53
設定画面一覧表	56
言語コード一覧表	57

索引

索引	裏表紙
----------	-----

* ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。「Dolby」、「Pro Logic」、「AC-3」及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

非公開機密著作物。著作権1992-1997年ドルビーラボラトリーズ。不許複製。

**「DTS」はDigital Theater Systems, Inc.の商標です。

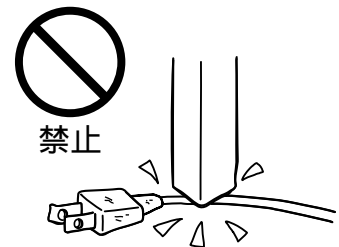


下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**死亡や大けが**の原因となります。

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 製品と壁や棚との間にはさみ込んだりしない。
 - 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
 - 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
 - 熱器具に近づけない。加熱しない。
 - 移動させるときは、電源プラグを抜く。
 - 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。
- ➡万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



湿気やほこりの多い場所や、油煙や湯気のあたる場所には置かない

上記のような場所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。特に風呂場や加湿器のそばなどでは絶対に使用しないでください。



内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。

- ➡万一、水や異物が入ったときは、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



キャビネットを開けたり、分解や改造をしない

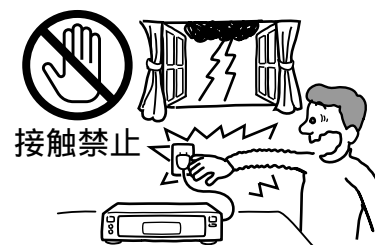
火災や感電、けがの原因となることがあります。

- ➡内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



雷が鳴りだしたら、本体や電源プラグに
触れない

感電の原因となります。



本機は国内専用です

交流100Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電
源電圧で使用すると、火災・感電の原因となります。

また、コンセントの定格を越えて使用しないでください。





下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり
周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

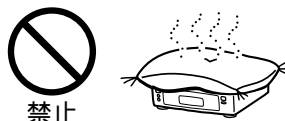
ぬれた手で電源プラグにさわらない

感電の原因となることがあります。



風通しの悪い所に置いたり、通風孔をふさいだりしない

布をかけたり、毛足の長いじゅうたんや布団の上または壁や家具に密接して置いて、通風孔をふさぐなど、自然放熱の妨げになるようなことはしないでください。過熱して火災や感電の原因となることがあります。



大音量で長時間つづけて聞かない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。特にヘッドホンで聞くとときにご注意ください。

→呼びかけられたら気がつくくらいの音量で聞きましょう。



安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となることがあります。また、置き場所、取り付け場所の強度も十分に確認してください。



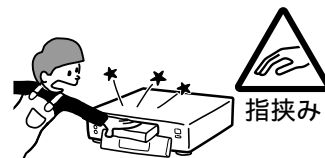
トレイの前に物を置かない

ディスクトレイが開く際に、物が倒れて破損やけがの原因となることがあります。本体の前に物を置かないでください。



幼児の手の届かない場所に置く

ディスクの挿入口などに手をはさまれ、けがの原因となることがあります。お子さまがさわらぬようご注意ください。



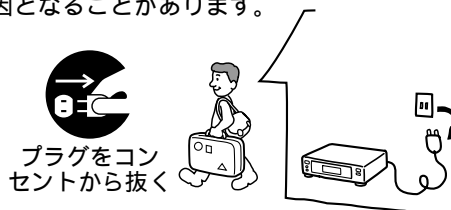
コード類は正しく配置する

電源コードやAVケーブルは足にひっかけると機器の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。十分に注意して接続、配置してください。



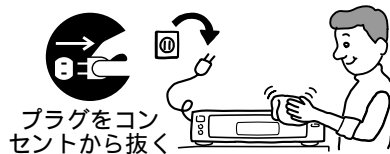
移動させるとき、長期間使わないときは、電源プラグを抜く

長期間使用しないときは安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化、漏電などにより火災の原因となることがあります。



お手入れの際、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。



ひび割れ、変形したディスクや補修したディスクを再生しない

本体内部でディスクが破損し、けがの原因となることがあります。



電池についての 安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱によるけがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠ 警告

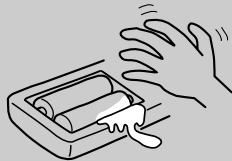
アルカリ電池の液が漏れたときは

素手で液をさわらない

アルカリ電池の液が目に入ったり、身体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因となることがあります。そのときに異常がなくても、液の化学変化により、時間がたつてから症状が現れることがあります。



接触禁止



必ず次の処理をする

→液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。



強制



→液が身体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。

電池は乳幼児の手の届かない所に置く
電池は飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となることがあります。

→万一、飲み込んだときは、ただちに医師に相談してください。



禁止



電池を火の中に入れない、加熱・分解・改造・充電しない、水で濡らさない

破裂したり、液が漏れたりして、けがやけどの原因となることがあります。



禁止



⚠ 注意

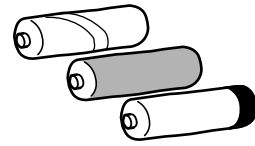
指定以外の電池を使わない、新しい電池と使用した電池または種類の違う電池を混ぜて使わない

電池の性能の違いにより、破裂したり、液が漏れたりして、けがやけどの原因となることがあります。

→電池の品番を確かめ、お使いください。



禁止



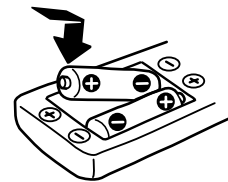
+ と - の向きを正しく入れる

+ と - を逆に入ると、ショートして電池が発熱や破裂をしたり、液が漏れたりして、けがやけどの原因となることがあります。

→機器の表示に合わせて、正しく入れてください。



強制

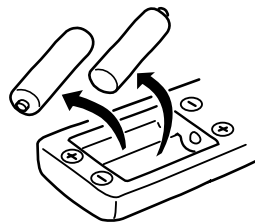


使い切ったときや、長時間使用しないときは、電池を取り出す

電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けがやけどの原因となることがあります。



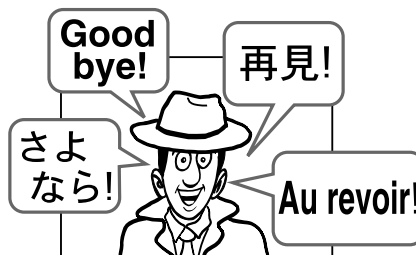
強制



主な特長

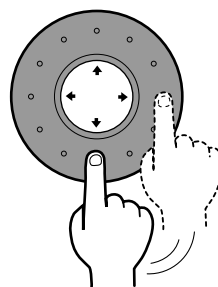
マルチ音声、字幕、アングル機能に対応(32、33ページ)

DVDに記録されている複数の音声や字幕、アングルの中から好きな音声や字幕、アングルを選んで再生できます。また再生中に音声や字幕、アングルを自由に切り換えてお楽しみいただくこともできます。



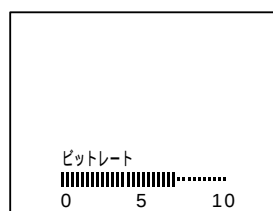
変速再生、コマ送り機能、スムーズIPサーチ機能(18、22ページ)

クリックシャトルを使って、正、逆両方向への一時停止から早送りまでのなめらかな変速再生や、コマ送りができます。また早送り、早戻しの画像サーチ時にはスムーズIPサーチ機能によりなめらかに画面が動くため、場面のすすみ具合も容易に把握できます。



ビットレート・インジケータ機能(24ページ)

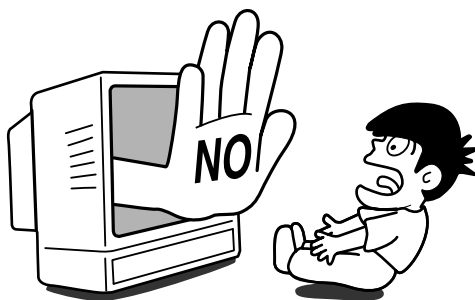
現在の画像のデータ量の目安となるビットレートをグラフィックで表示します。DVDの高画質技術の一端をお楽しみいただけます。



現在の画像のビットレートを表示します

視聴年齢制限機能(34ページ)

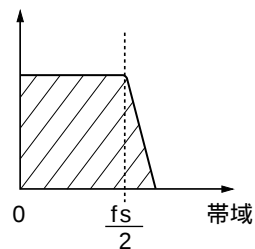
年齢による視聴制限を設定することができます。設定中は、制限されているシーンをカットしたり、あらかじめ用意された別のシーンに差し替えて再生します。制限を解除して見るには暗証番号を入力します。



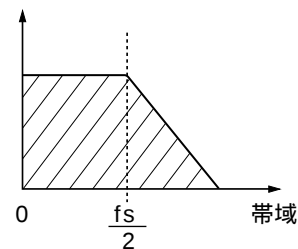
96kHz、24bitに対応、可変デジタルフィルター搭載(44ページ)

96kHz、24bitのリニアPCMのDVDにも対応した1ビットD/Aコンバーターを内蔵しており、ダイナミックレンジの広い高音質なサウンドをお楽しみいただけます。また可変デジタルフィルターを搭載し、従来からのシャープロールオフポジションに加えてフィルターの遮断特性を緩やかにしたスローロールオフポジションも選べます。スローロールオフポジションでは、なめらかでバランスの取れた心地よい音色が得られます。ソフトにより、お好みにより、切り換えてお楽しみいただけます。

フィルターの遮断特性(f_s : サンプル周波数)



シャープロールオフ
: 広いレンジ感

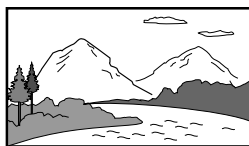


スローロールオフ
: なめらかな音色

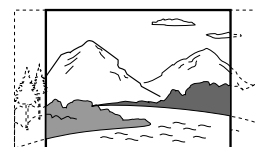
ワイドTV、通常のテレビの両アスペクト比に対応(43ページ)

お手持ちのテレビにあわせて画像のアスペクト比をお選びいただけます。ワイドの画像を通常のテレビの画像(4:3 レターボックス)に変換する場合もチラツキ感の少ない画像をお楽しみいただけます。

16:9 (ワイド画像)



4:3 レターボックス



4:3 パンスキャン

この取扱説明書の使いかた

- 「設置と準備」(12～15ページ)をご覧ください。接続などの準備を済ませてください。
- 基本的な使いかたは、「DVDを再生する」(16～19ページ)、「CD/ビデオCDを再生する」(20～23ページ)をご覧ください。
- さらに進んだ使い方については、24ページ以降をご覧ください。
- この取扱説明書では、次の記号を使っています。

記号	意味
	リモコンで操作します。
	知っているとお利便な情報です。
	DVDビデオで使える機能です。
	ビデオCDで使える機能です。
	音楽用CDで使える機能です。

再生できるディスクについて

本機では次のディスクを再生できます。次のディスク以外は再生できません。

ディスクの種類	DVDビデオ		ビデオCD		音楽用CD	
ディスクに付いているマーク(ロゴ)						
記録しているもの	音声 + 映像		音声 + 映像		音声	
ディスクの大きさ	12cm	8cm	12cm	8cm	12cm	8cm (CDシングル)
最長再生時間	約4時間(片面) 約8時間(両面)	約80分(片面) 約160分(両面)	74分	20分	74分	20分

"DVD VIDEO" ロゴは商標です。

再生可能なDVDの地域番号(リージョンコード)について

DVDにはのように地域番号が表示されているものがあります。表示中の数字は再生できるプレーヤーの地域番号を表わしています。この表示に「2」が含まれていない、またはの表示のないDVDは、本機で再生できません。このようなDVDを再生しようとしたときは、「このディスクは地域制限により再生を禁止されています」と画面に表示されます。また地域番号の表示がないDVDでも地域制限されている場合があり、本機で再生できないことがあります。

DVD、ビデオCD再生時の操作上のご注意

DVD、ビデオCDはソフト制作者の意図により再生状態が決められていることがあります。本機ではソフト制作者が意図したディスク内容にしたがって再生を行うため、操作したとおりに機能が働かない場合があります。再生するディスクに付属の説明書も必ずご覧ください。

DVDに表示されているマークの説明

DVDのディスクやパッケージに表示されているマークには以下のようなものがあります。それぞれのマークはそのディスクに記録されている内容や、使える機能を表しています。

ただしそれらの機能が使えても、以下のマークが表示されていないDVDもあります。

マーク	意味
	音声のトラック数を表します。
	字幕の数を表します。
	アングル数を表します。
	選択可能な画像アスペクト比を表します。
	再生可能な地域番号を表します。

ディスクに関する用語の説明

• タイトル

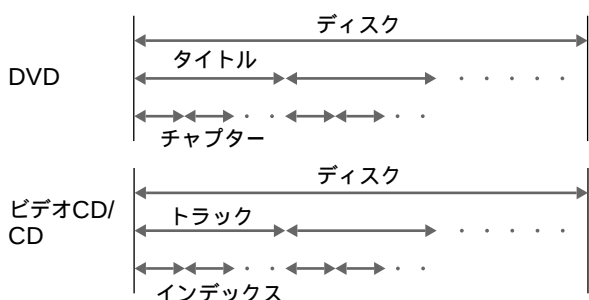
DVDに記録されている映像や曲のいちばん大きな単位です。通常は映像ソフトでは映画1作品、音楽ソフトではアルバム1枚(あるいは1曲)にあたります。それぞれのタイトルに順に付けられた番号をタイトル番号といいます。

• チャプター

DVDに記録されている映像や曲の区切りで、タイトルより小さい単位をチャプターといいます。1つのタイトルはいくつかのチャプターで構成されます。それぞれのチャプターに順に付けられた番号をチャプター番号といいます。ディスクによってはチャプターが記録されていないものもあります。

• トラック

ビデオCDやCDに記録されている映像や曲の区切り(1曲分)をトラックといいます。それぞれのトラックに順に付けられた番号をトラック番号といいます。



• インデックス (CD)/ビデオインデックス (ビデオCD)

ビデオCDおよびCDで、再生したい部分を見つけやすいように1つのトラックをいくつかの部分に区切って番号を付けたものです。ディスクによってはインデックスが記録されていないものもあります。

• シーン

PBC対応のビデオCDで、メニュー画面や動画、静止画の区切りのことをシーンと言います。シーンごとに順に付けられた番号をシーン番号と言います。

PBC (プレイバックコントロール) について (ビデオCD)

本機は、PBC対応ビデオCD (バージョン2.0) にも対応しています。(PBCとは、Playback Controlの略です。)

ディスクのタイプによって、次の2種類の再生を楽しめます。

ディスクのタイプ	楽しみかた
PBC対応でないビデオCD (バージョン1.1)	音楽用CDと同じように操作して、音声と映像(動画)を再生できます。
PBC対応ビデオCD (バージョン2.0)	上記(PBC対応でない場合)の楽しみかたに加えて、テレビ画面に表示されるメニュー画面(選択画面)を使って、対話型のソフトや検索機能のあるソフトを再生できます(PBC再生、25ページ)。また、高精細の静止画も再生できます。

本機で再生できないディスクについて

本機では次のディスクを再生することはできません。

- CD-ROM (PHOTO CDを含む)
- CD-EXTRAのデータ部分
- DVD-ROM、など

DTSで記録されたCDを再生するとアナログ出力からは極端に大きなノイズが出ます。DVDプレーヤーのアナログ出力をアンプにつないでいるときは、お手持ちのシステムが破損しないよう細心の注意を払う必要があります。DTS Digital Surround™の再生をお楽しみいただくには、DVDプレーヤーのデジタル出力に5.1チャンネルの外部DTS Digital Surround™デコーダーを接続する必要があります。

本機は、マクロビジョンコーポレーションやその他の権利者が保有する、米国特許上の方法クレーム及びその他の知的所有権によって保護された著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンコーポレーションの許諾が必要であり、マクロビジョンコーポレーションが特別に許諾する場合を除いては、一般家庭その他における限られた視聴用以外に使用してはならないこととされています。リバースエンジニアリングまたは分解は禁止されています。

付属品を確認する

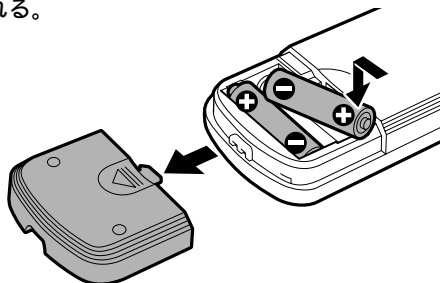
次の付属品がそろっているかを確認してください。

- 映像コード
(ピンプラグ×1↔ピンプラグ×1)(1)
- 音声コード
(ピンプラグ×2↔ピンプラグ×2)(1)
- S映像コード(1)
- リモコン RMT-D107J(1)
- 単3形乾電池(NS)(2)
- ソニーご相談窓口のご案内(1)
- 保証書(1)

もし、付属品がそろっていないときは、お買い上げ店、またはソニーサービス窓口にご連絡ください。

リモコンに電池を入れる

⊕と⊖の向きを合わせて、単3形乾電池(付属)2個を入れる。



 リモコンでテレビやAVアンプを操作できます。
36ページをご覧ください。

ご注意

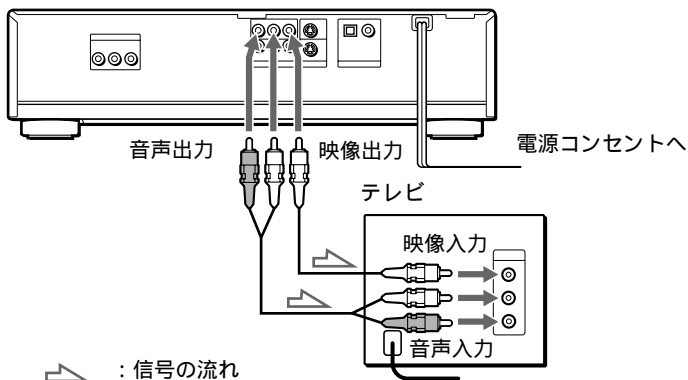
- 乾電池の使いかたを誤ると、液もれや破裂のおそれがあります。次のことを必ず守ってください。
 - ⊕と⊖の向きを正しく入れてください。
 - 新しい乾電池と使った乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使わないでください。
 - 乾電池は充電しないでください。
 - 長い間リモコンを使わないときは、乾電池を取り出してください。
 - 液もれたときは、電池入れについた液をよくふき取ってから新しい乾電池を入れてください。
- リモコンを使うときは、リモコン受光部に直射日光や照明器具などの強い光が当たらないようにご注意ください。リモコンで操作できないことがあります。

接続する

テレビやアンプとCD/DVDプレーヤーを接続します。
なお、本機は映像入力端子がないテレビには接続できません。接続するときは、機器の電源を必ず切ってください。

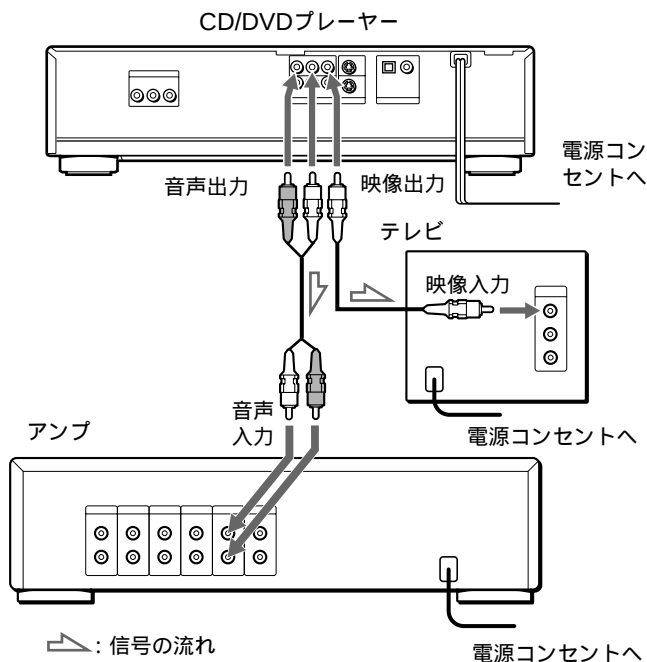
■ テレビのスピーカーから音を出すとき

CD/DVDプレーヤー



電源コンセントへ

■ アンプにつないだスピーカーから音を出すとき



電源コンセントへ

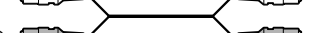
以下の手順でつなぎます。

1 必要な接続コードを用意する。

映像コード (付属)

黄 (映像)  黄 (映像)

音声コード (付属)

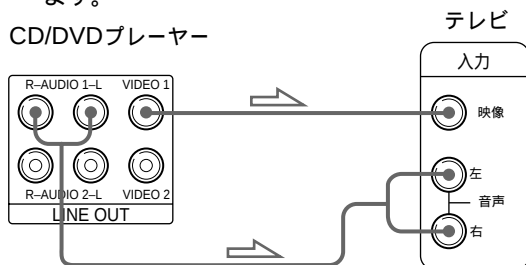
白 (左, L)  白 (左, L)
赤 (右, R)  赤 (右, R)

2 つなぐ。

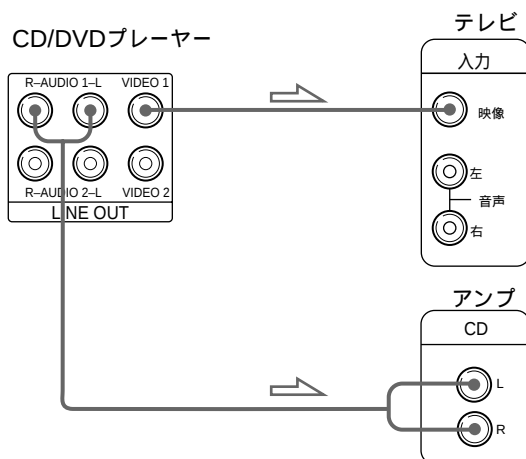
黄 (映像) 端子に黄プラグを、白 (左, L) 端子には白プラグを、赤 (右, R) 端子には赤プラグをつなぎます。

つなぐときはプラグを端子にしっかり差し込んでください。しっかり差し込まないと雑音やノイズの原因になります。

- テレビのスピーカーから音を出すとき
映像 / 音声コード (付属) でテレビにつなぎます。



- アンプにつないだスピーカーから音を出すとき

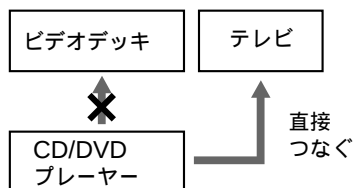


アンプがドルビープロロジック対応の場合も同じように接続します。

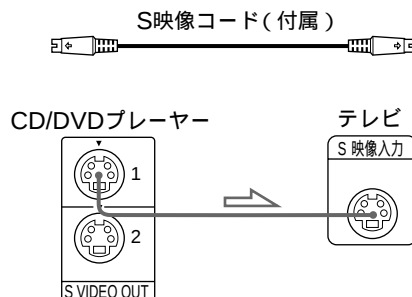
3 電源コードをコンセントにつなぐ。 コンセントにつなぐとPOWERスイッチのランプが赤く点灯します。

ご注意

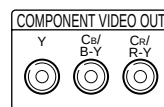
- 右記のようにビデオデッキを経由して本機の映像をテレビで見ようとすると、画像が乱れることがあります。本機とビデオデッキは接続しないでください。
- テレビやアンプによっては音声出力のレベルが高く、音が歪むことがあります。そのときはSET UP (設定) 画面の「初期設定2」から「オーディオ ATT」を選んで「入」にしてください。(くわしくは44ページをご覧ください。)



- 💡 S映像入力端子付きのテレビをお使いのときは黄色の映像コードでつなぐ代わりに、S映像コード (付属) を使ってつなぎます。さらに鮮明な映像が楽しめます。



- 💡 本機のコンポーネントビデオ出力端子 (Y、Cb/B-Y、Cr/R-Y) の信号に対応した入力端子を持つテレビやプロジェクターにつなぐときは手順2でコンポーネント映像コード (別売り) または同じ映像コード3本 (別売り) を使います。より高画質の映像が楽しめます。



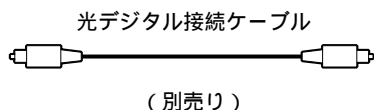
ご注意

つなぐ機器の説明書もご覧ください。

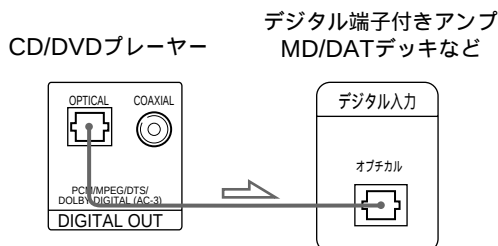
💡 デジタル端子付きのアンプやMDデッキ、DATデッキにつなぐときはオーディオ用光デジタル接続ケーブル(別売り)またはオーディオ用同軸デジタル接続ケーブル(別売り)を使います。

この接続をしたときは、SET UP(設定)画面の「初期設定3」の「音声デジタル出力」を「入」に、「ドルビーデジタル」を「ダウンミックスPCM」に、「MPEG」を「PCM」に、「DTS」を「切」にそれぞれ設定しておきます(45ページ)。お買い上げ時にはこのように設定されています。

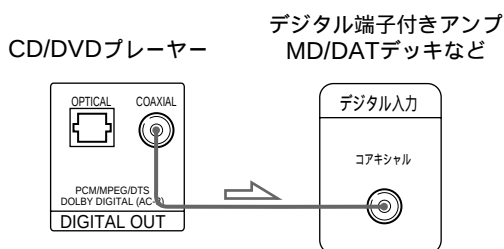
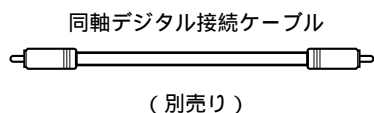
■光デジタル接続ケーブルを使うとき



端子についているキャップを抜いてから、プラグをしっかりと差し込みます。



■同軸デジタル接続ケーブルを使うとき



ご注意

- つなぐ機器の説明書もご覧ください。
- DTSおよびドルビーデジタル(AC-3)方式で記録されたディスクの音声を、そのままMDデッキやDATデッキでデジタル録音することはできません。

この接続をしたときは、SET UP(設定)画面の「初期設定3」で以下の設定をしないでください。

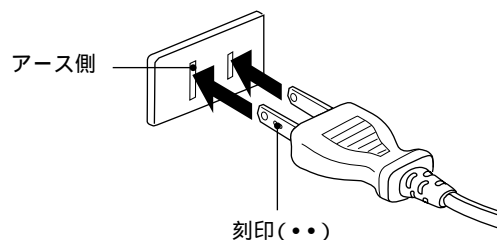
- ドルビーデジタル：ドルビーデジタル
- MPEG：MPEG
- DTS：入

このうちひとつでも設定されていると、突然大音量が出て耳に悪影響を及ぼしたり、スピーカーを破損したりすることがあります。

💡 DTSデコーダーまたはMPEGオーディオデコーダー、ドルビーデジタルデコーダー内蔵の機器につなぐときはオーディオ用光デジタル接続ケーブル(別売り)またはオーディオ用同軸デジタル接続ケーブル(別売り)を使います。接続や設定について詳しくは38ページをご覧ください。

電源コードの極性について

各機器の電源コードの極性を合わせて、より良い音質で音楽をお楽しみいただくため、本機の電源プラグには刻印(・・)が付いています。刻印が入っている側がコンセントの差し込み口の長い方(アース側)にくるように差し込みます。



使う前に必要な設定をする

接続したテレビやその他の機器に合わせて、CD/DVD プレーヤーの設定をします。設定のしかたは41ページを、設定内容については42～45ページをご覧ください。

ドルビーデジタルやMPEGオーディオ、DTSのサラウンドをお楽しみになるときは、38ページをご覧ください。

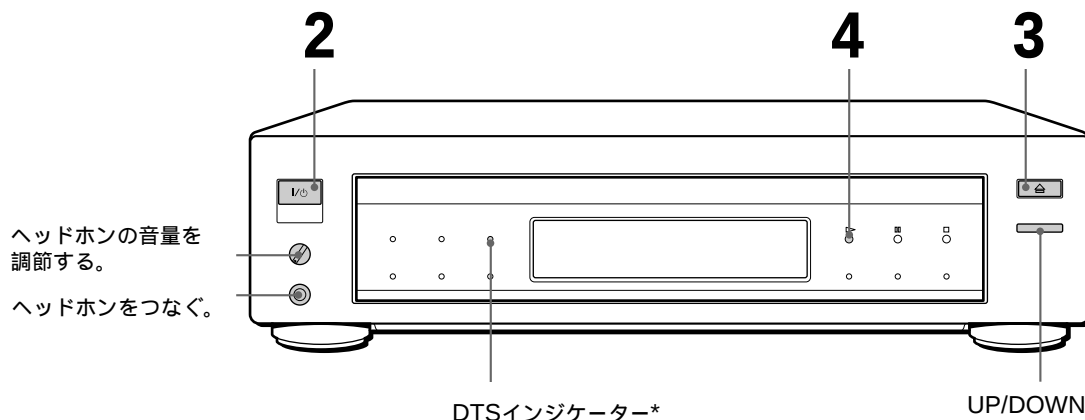
- ワイドテレビとつないだとき
SET UP (設定) 画面の「初期設定1」の「TVタイプ」を「16:9」にする。お買い上げ時は「16:9」に設定されています。
- 通常のテレビとつないだとき
SET UP (設定) 画面の「初期設定2」の「TVタイプ」を「4:3 レターボックス」または「4:3 パンスキャン」にする(43ページ)。
- ドルビーデジタル(AC-3)やMPEG、DTS 対応でないデジタルアンプにつないで音を出すとき/MDやDATなどのデジタル機器に出力するとき
SET UP (設定) 画面の「初期設定3」の「音声デジタル出力」を「入」にして、「ドルビーデジタル」を「ダウンミックスPCM」に、「MPEG」を「PCM」に、「DTS」を「切」にします。お買い上げ時にはこのように設定されています。くわしくは45ページをご覧ください。
- ドルビーデジタルデコーダー内蔵のデジタル機器とつないで音を出すとき
SET UP (設定) 画面の「初期設定3」の「音声デジタル出力」を「入」にして(お買い上げ時の設定)「ドルビーデジタル」を「ドルビーデジタル」にする。くわしくは38ページをご覧ください。
- MPEGオーディオデコーダー内蔵のデジタル機器とつないで音を出すとき
SET UP (設定) 画面の「初期設定3」の「音声デジタル出力」を「入」にして(お買い上げ時の設定)「MPEG」を「MPEG」にする。くわしくは38ページをご覧ください。
- DTSデコーダー内蔵のデジタル機器とつないで音を出すとき
SET UP (設定) 画面の「初期設定3」の「音声デジタル出力」を「入」にして(お買い上げ時の設定)「DTS」を「入」にする。くわしくは38ページをご覧ください。

その他、画像や音声についての設定は主にSET UP(設定)画面1、2、3を使って行います。くわしくは41ページをご覧ください。

本機はNTSCカラーテレビ方式に対応しています。PALカラーテレビ方式で記録されたディスクを再生すると、本機は映像信号やSET UP(設定)画面などをPALカラーテレビ方式で出力するため、テレビには画像が映らないことがあります。この場合には、ディスクトレイを開けてディスクを取り出してください。

基本的な使いかたは、「DVDを再生する」(次ページから)「CD/ビデオCDを再生する」(20ページから)をご覧ください。
その他の使いかたは、24ページからをご覧ください。

DVDを再生する



- CD/ビデオCDの再生については20ページをご覧ください。(操作方法が異なります。)



リモコンでも電源を入れることができます。
本体前面のI/Oスイッチのランプが赤く点灯しているとき、電源ボタンを押します。

- * DTSインジケーターはDTSの音声トラックを再生しているときに点灯します。このときLINE OUT (AUDIO 1、2) およびPHONES端子からは音は出ません。DTSの音声をお楽しみいただくには、DTSデコーダー内蔵のオーディオ機器を本機に接続する必要があります(38ページ)。



メニュー画面が表示されたときは
再生するDVDによっては手順4を行うとタイトルメニューやDVDメニューが表示される場合があります。くわしくは17ページをご覧ください。

1

テレビの準備は

テレビの電源を入れ、テレビの入力切り換えでCD/DVDプレーヤーの画像が映るようにします。

アンプをつないでスピーカーから音を出すときは

アンプの電源を入れ、アンプの入力切り換えでCD/DVDプレーヤーの音声が聞こえるようにします。

2

電源を入れる。

I/Oスイッチのランプ(赤)が緑に変わり、表示窓が点灯します。

3

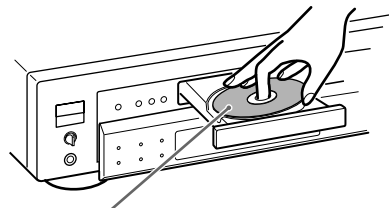
合を押す。

ディスクトレイが手前に開きます。

4

ディスクを置いて、▶を押す。

ディスクトレイと前面パネルが閉まり、再生が始まります(ふつうの再生)。テレビまたはアンプで音量を調節します。



再生したい面を下に

前面パネルを開閉するには
本体のUP/DOWNを押す。

DVDによっては、異なる操作や禁止されている操作がありますので、再生するDVDに付属の説明書も必ずご覧ください。

ご注意

- 一時停止中、15分以上本体またはリモコンを操作しないと、自動的にスクリーンセーバーが作動します。▷を押すとスクリーンセーバーが消えます。
- 停止中、30分以上本体またはリモコンを操作しないと自動的に電源が切れます(オートパワーオフ機能)。



表示窓の「RESUME」が点灯中は、つづきから再生できます。
再生を止めた場所のつづきから再生できます。DVDの最初から再生したいときは31ページをご覧ください。

ご注意

DVDによってはつづき再生できない場合があります。



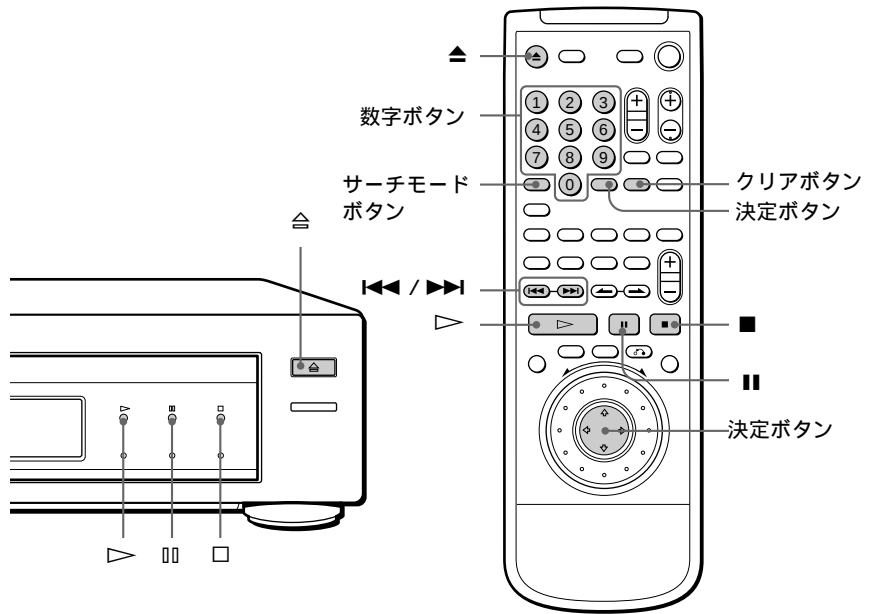
チャプター/タイトルとは?
11ページをご覧ください。



サーチモードボタンを押すたびに
「チャプターサーチ」、「タイトルサーチ」、「タイムサーチ」が表示されます。

ご注意

DVDによっては操作が禁止されている場合があります。



その他の操作

こんなときは	このボタンを押す
止める	■
途中で止める	
途中で止めたあと、つづきを再生する	または ▷
再生中にチャプターを進める	▶▶
再生中にチャプターを戻す	◀◀
再生するチャプターを選ぶ	1 画面に「チャプターサーチ」が表示されるまでサーチモードボタンを数回押す 2 数字ボタンでチャプター番号を選び決定ボタン(または▷)
再生するタイトルを選ぶ	1 画面に「タイトルサーチ」が表示されるまでサーチモードボタンを数回押す 2 数字ボタンでタイトル番号を選び決定ボタン(または▷)
再生を始める時間を選ぶ	1 画面に「タイムサーチ」が表示されるまでサーチモードボタンを数回押す 2 数字ボタンで時間を入力し決定ボタン(または▷)
ディスクを取り出す	▲

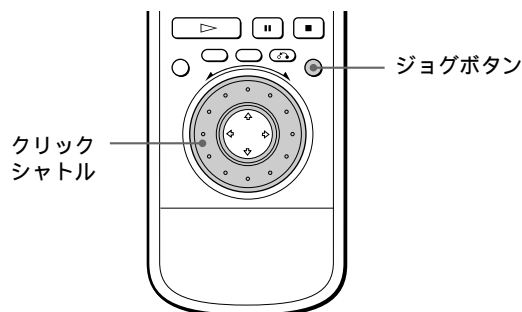
数字ボタンの入力を間違えたときは
クリアボタンを押してから正しい数字ボタンを押す。

DVD

ここだけ読んでも使えます

速さを変えて再生する/コマ送りする

クリックシャトルとジョグボタンを使って、いろいろな速さで再生したりコマ送りすることができます。ジョグボタンを押すたびに、ジョグモードとシャトルモードが切り換わります。



■ 速さを変えて再生する(シャトルモード)

クリックシャトルを回す。

回す向きと角度に応じて次のように再生の速さが変わります。

早送り2▶▶ (通常の約30倍)



早送り1▶▶ (通常の約10倍)



×2▶ (約2倍速)



再生▶ (通常の再生)



スロー1▶▶



スロー2▶▶ (スロー1より遅い)



一時停止||



スロー2◀◀ (逆方向：スロー1より遅い)



スロー1◀◀ (逆方向)



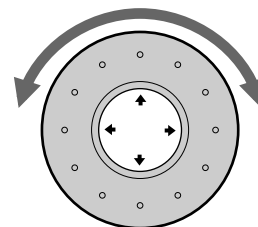
×2◀ (逆方向：約2倍速)



早戻し1◀◀ (通常の約10倍)



早戻し2◀◀ (通常の約30倍)



すばやく回すと早送り2▶▶/早戻し2◀◀になります。

■ 速さを変えてコマ送りする(ジョグモード)

1 ジョグボタンを押す。

ジョグモードではジョグボタンが点灯します。

2 クリックシャトルを回す。

クリックシャトルを回す速さに応じて再生方向または逆方向に、コマ送りされます。

ある程度以上一定の速さになると、スローまたはふつうの再生になります。

■ ふつうの再生に戻す

▷を押す。

ご注意

- DVDによっては操作が禁止されている場合があります。
- 2倍速再生時には画像に対応した音声(通常より小さい音)が LINE OUT (AUDIO 1,2) 端子から出力されます。この場合、DIGITAL OUT端子からは音声は出力されません。

ご注意

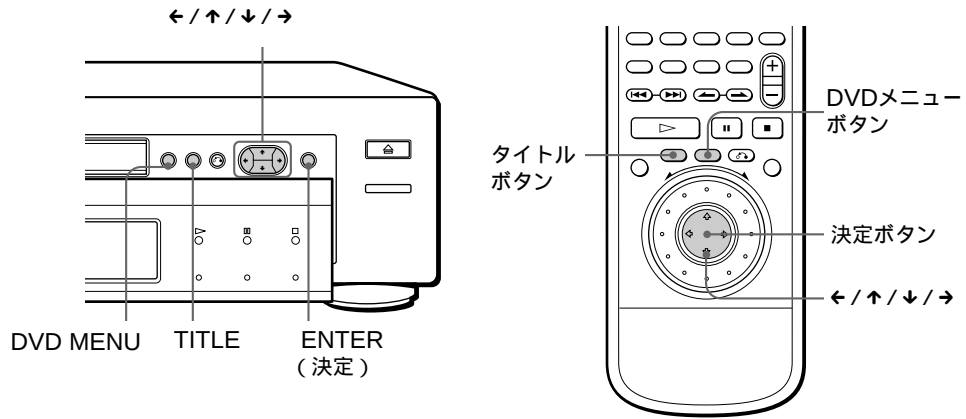
ジョグボタンを押してからクリックシャトルに触れないで20秒たつとシャトルモードに戻ります。

ご注意

- DVDによってはタイトルを選ぶことが禁止されている場合があります。
- DVDによっては「タイトルメニュー」のことを「メニュー」または「タイトル」と表示しているものがあります。また決定ボタンを押すことを「選択ボタンを押す」と表示しているものがあります。

メニューを使って操作する(タイトルメニュー)

DVDには、複数の映像や曲が記録されたものがあります。これをタイトルといいます。このようなDVDを再生するときは、タイトルメニューで好きなタイトルを選べます。



- 1 タイトル / TITLEボタンを押す。
タイトルメニューが表示されます。
- 2 再生したい タイトルを← / ↑ / ↓ / →で選ぶ。
(DVDによってはリモコンの数字ボタンでタイトルを選べるものもあります。)
- 3 決定ボタンを押す。
選んだタイトルの再生が始まります。



DVDメニューで表示される言語を変えるときはSET UP(設定)画面の「言語設定」で変更できます。DVDに記録されていない言語を選んだときは、DVDに記録されている言語のうちの1つが自動的に選ばれます(42ページ)。

ご注意

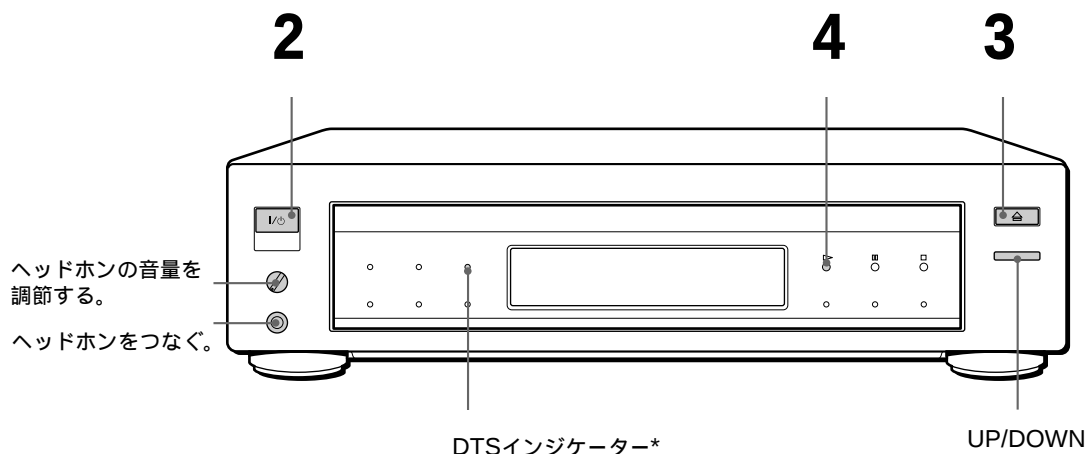
DVDによっては「DVDメニュー」のことを「メニュー」と表示しているものがあります。

ディスクの内容を選ぶ(DVDメニュー)

DVDには、ディスクの内容をメニューで選択できるものがあります。このようなDVDを再生するときは、再生したい項目、表示したい字幕の言語、聞きたい音声の言語などをDVDメニューで選べます。

- 1 DVDメニューボタンを押す。
DVDメニューが表示されます。DVDメニューはDVDにより異なります。
- 2 選びたい項目を← / ↑ / ↓ / →で選ぶ。
(DVDによってはリモコンの数字ボタンで項目を選べるものもあります。)
- 3 別の項目を変更したいときは、手順2を繰り返す。
- 4 決定ボタンを押す。

CD/ビデオCDを再生する



- DVDの再生については16ページをご覧ください。
(操作方法が異なります。)



リモコンでも電源を入れることができます。
本体前面のI/Oスイッチのランプが赤く点灯しているとき、電源ボタンを押します。

* DTSデコーダー内蔵でないオーディオ機器を本機につないでいるときは、CDのDTS音声を再生しないでください。CDのDTS音声を再生中はたとえDIGITAL OUT端子からDTSの信号が出力されていても、DTSインジケーターは点灯しません。このとき、LINE OUT(AUDIO 1、2)およびPHONES端子からは大きなノイズが出ます。DTSの音声をお楽しみいただくには、DTSデコーダー内蔵のオーディオ機器を本機に接続する必要があります(38ページ)。



メニュー画面が表示されたときは
ビデオCDによっては手順4でテレビ画面にメニューが表示される場合があります。そのときは、表示されたメニュー画面(選択画面)を使って、対話形式で再生していきます(PBC再生)。PBC再生の操作のしかたについては、21ページをご覧ください。

1

テレビの準備は

テレビの電源を入れ、テレビの入力切り換えでCD/DVDプレーヤーの画像が映るようにします。

アンプをつないでスピーカーから音を出すときは

アンプの電源を入れ、アンプの入力切り換えでCD/DVDプレーヤーの音声が聞こえるようにします。

2

電源を入れる。

I/Oスイッチのランプ(赤)が緑に変わり、表示窓が点灯します。

3

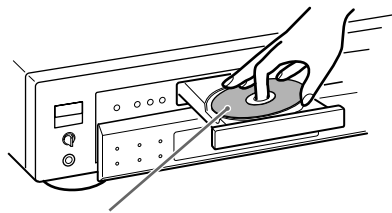
合を押す。

ディスクトレイが手前に開きます。

4

ディスクを置いて、▶を押す。

ディスクトレイと前面パネルが閉まり、再生が始まります(ふつうの再生)。テレビまたはアンプで音量を調節します。



文字の書いてある面を上

前面パネルを開閉するには
本体のUP/DOWNを押す。

ディスクによっては、異なる操作や禁止されている操作がありますので、再生するディスクに付属の説明書も必ずご覧ください。

ご注意

- 一時停止中、15分以上本体またはリモコンを操作しないと、自動的にスクリーンセーバーが作動します。▷を押すとスクリーンセーバーが消えます。
- 停止中、30分以上本体またはリモコンを操作しないと自動的に電源が切れます(オートパワーオフ機能)。



表示窓の「RESUME」が点灯中は、つづきから再生できます。再生を止めた場所のつづきから再生できます。CD/ビデオCDの最初から再生したいときは31ページをご覧ください。



トラック/インデックス/シーンとは？
11ページをご覧ください。

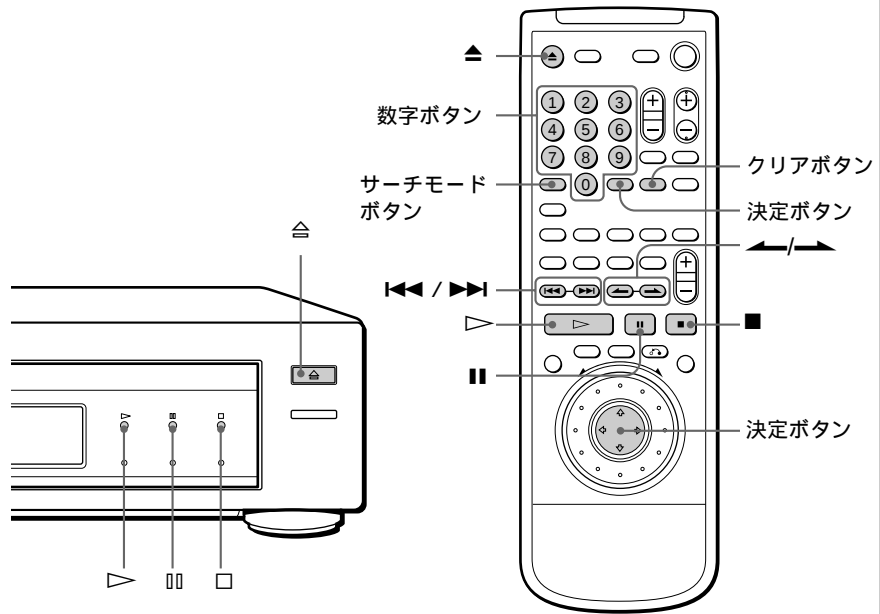


好きな場所を探す(サーチ)方法を切り換えるにはサーチモードボタンを押します。ビデオCDでは、押すたびに「シーンサーチ」「トラックサーチ」「ビデオインデックスサーチ」が表示されます。CDでは「トラックサーチ」のみです。

ご注意

- ビデオCDによっては、選んだシーンから再生できない場合があります。このときは、停止中はシーン1から、再生中はもともと見ていたシーンに戻ります。
- ビデオCDによっては、選んだシーンの映像が出ないことがあります。

その他の操作

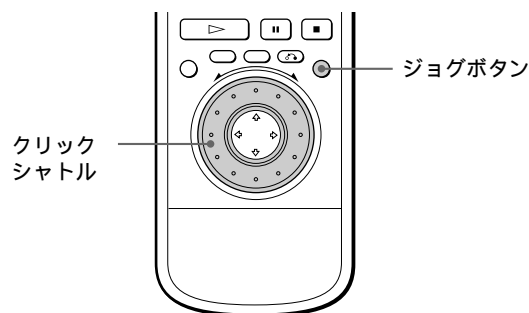


こんなときは	このボタンを押す
止める	■
途中で止める	
途中で止めたあと、つづきを再生する	または▷
再生中に映像や曲を進める	▶▶
再生中に映像や曲を戻す	◀◀
再生する映像や曲を選ぶ	数字ボタンでトラック番号を選び、決定ボタン(または▷)
再生するインデックスを選ぶ(ビデオCDでは再生時のみ)	➡(再生方向)または◀(逆方向)
再生するシーンを選ぶ(ビデオCDのPBC対応ディスクの停止中またはPBC再生時のみ)	- 画面に「シーンサーチ」が表示されるまでサーチモードボタンを数回押す - 数字ボタンでシーン番号を入力し、決定ボタン(または▷)(再生中のシーン番号は画面表示ボタンを押すとテレビ画面左上に表示されます)
ディスクを取り出す	▲

数字ボタンの入力を間違えたときはクリアボタンを押してから正しい数字ボタンを押す。

速さを変えて再生する/コマ送りする

クリックシャトルとジョグボタンを使って、いろいろな速さで再生したりコマ送りすることができます。ジョグボタンを押すたびに、ジョグモードとシャトルモードが切り換わります。



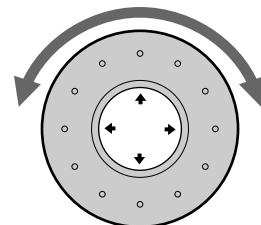
■ 速さを変えて再生する(シャトルモード)

ご注意

ビデオCDによっては操作が禁止されている場合があります。

クリックシャトルを回す。
回す向きと角度に応じて次のように再生の速さが変わります。

早送り2▶▶ (早送り1より速い)
 ⇕
 早送り1▶▶
 ⇕
 ×2▶ (約2倍速)
 ⇕
 再生▶ (通常の再生)
 ⇕
 スロー1◀◀ (-ビデオCDのみ)
 ⇕
 スロー2◀◀ (スロー1より遅い - ビデオCDのみ)
 ⇕
 一時停止||
 ⇕
 早戻し1◀◀
 ⇕
 早戻し2◀◀ (早戻し1より速い)



すばやく回すと早送り2▶▶/早戻し2◀◀になります。

ご注意

ジョグボタンを押してからクリックシャトルに触れないで20秒たつとシャトルモードに戻ります。

■ 速さを変えてコマ送りする(ジョグモード)(ビデオCDのみ)

- 1 ジョグボタンを押す。
ジョグモードではジョグボタンが点灯します。
- 2 クリックシャトルを回す。

クリックシャトルを回す速さに応じて再生方向のみに、コマ送りされます。ある程度以上一定の速さになると、スローまたはふつうの再生になります。

■ ふつうの再生に戻る

▷を押す。



PBC機能付きのビデオCDを入れると

自動的にPBC再生が始まります。



PBC機能を使わないで再生するときは

次の2つの方法があります。

- 停止中、**◀◀**または**▶▶**を押して再生したいトラックを選んでから**▷**または決定ボタンを押す。
- 停止中、リモコンの数字ボタンで再生したいトラック番号を押してから**▷**または決定ボタンを押す。

画面上に「PBCを切って再生します」が表示され、ふつうの再生(トラック番号順に再生)が始まります。このとき、選択用のメニューなどの静止画は再生できません。

ご注意

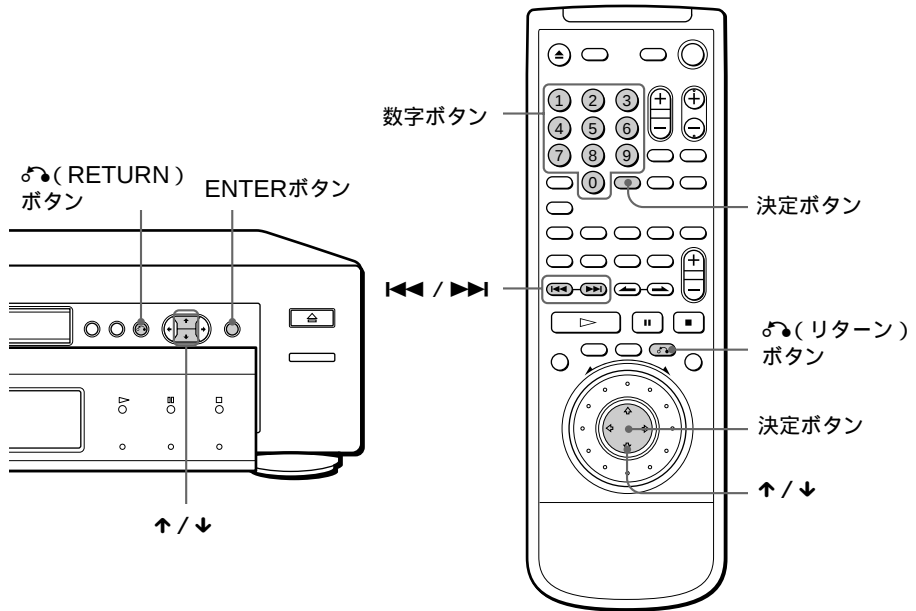
ビデオCDによっては手順3で決定ボタンを押すことを「選択ボタンを押す」と表示しているものがあります。

プレイバックコントロール機能を使う(PBC再生)(ビデオCDのみ)

PBC対応ビデオCD(バージョン2.0)では、PBC(プレイバックコントロール)機能を使って、対話型のソフトや検索機能のあるソフトを楽しめます。

PBC再生とは、PBC機能でテレビ画面に表示される選択用のメニュー画面を使って、対話形式で再生を進めていくことです。

本機では、数字ボタンと、決定ボタン、**◀◀**、**▶▶**、**↵**(リターン)、**↑/↓**ボタンを使って、PBC再生を進めていきます。操作の方法はビデオCDによっても異なることがありますので、ビデオCDに付属の説明書もご覧ください。



- 1 「CD / ビデオCDを再生する」(20ページ)の手順1から手順4を行って、PBC対応ビデオCDの再生を始める。
- 2 選択用のメニュー画面の中で行いたい(再生したい)項目の番号を選ぶ。
↑/↓ボタンで項目の番号に合わせるか、リモコンの数字ボタンで項目の番号の数字ボタンを押します。
- 3 決定ボタンを押す。
- 4 テレビ画面に表示される選択用のメニュー画面などにしたがって、対話形式で再生を進める。

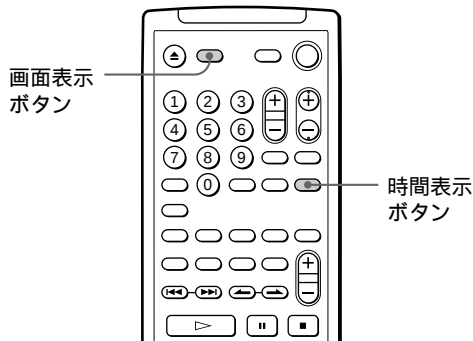
選択用のメニュー画面に戻るには

一般的なPBC対応ビデオCDでは、**↵**(リターン)または**◀◀**、**▶▶**のいずれかのボタンを押す。

テレビ画面表示の見かた



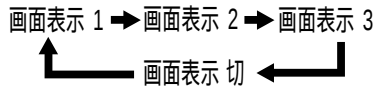
現在の動作状態や入っているディスクの情報を、停止中または再生中に映像に重ねてテレビ画面に表示できます。



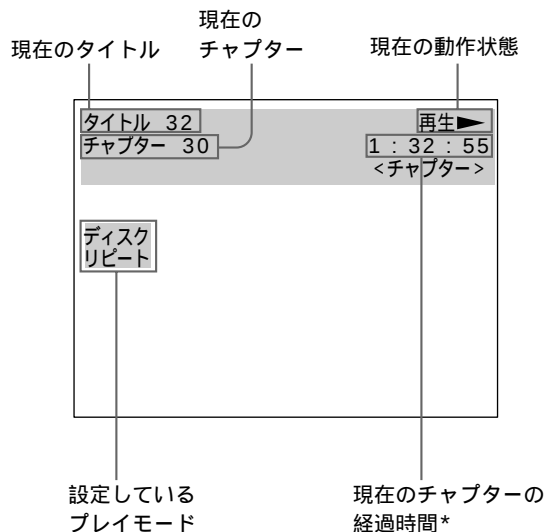
DVDを再生または停止中のとき



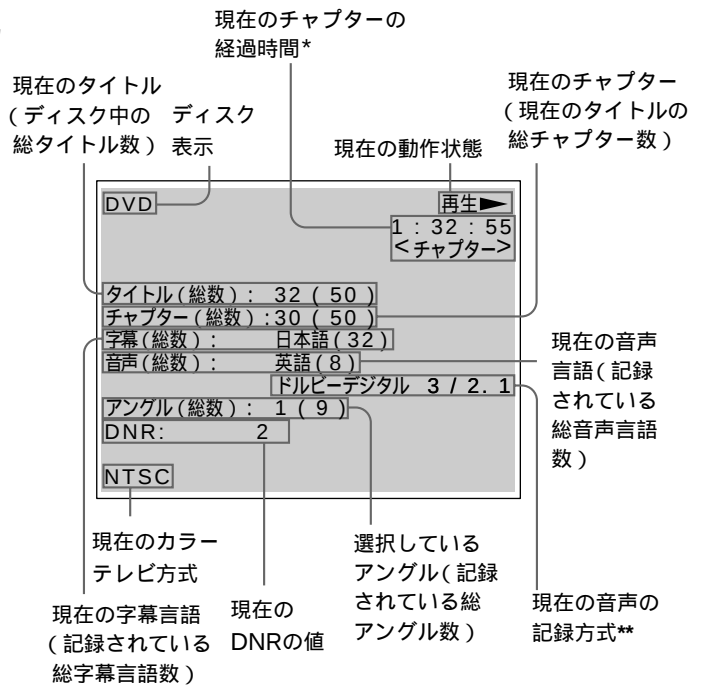
画面表示ボタンを押す。
押すたびに次のように表示が切り換わります。



■ 画面表示 1



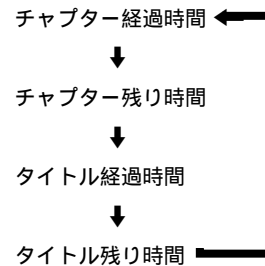
■ 画面表示 2



ご注意

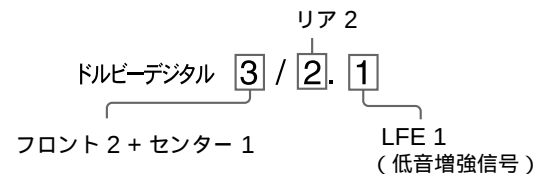
DVDにより表示されない項目もあります。

* 画面表示1、2では時間表示ボタンを押すごとに次のように表示が切り換わります。



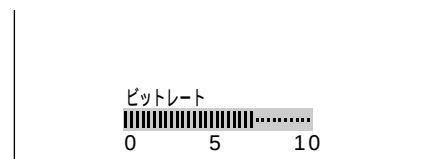
**「PCM」あるいは「MPEG」,「DTS」,「ドルビーデジタル」と表示されます。「ドルビーデジタル」のときは音声の含まれるチャンネルが数字で表示されます。

ドルビーデジタル5.1chの場合：



■ 画面表示 3

再生中に、再生している画像のおよそのビットレートを、Mbps単位で常に表示します。





ビットレートとは？

DVDに記録されている画像の1秒あたりの情報量を示す値です。ビットレートが大きいほど情報量が多くなりますが、必ずしも画質がよいとは限りません。

■ 画面表示 切

何も表示しません。(メッセージなどは表示されません。)

CD/ビデオCDを再生または停止中のとき

画面表示ボタンを押す。

押すたびに次のように表示が切り換わります。

画面表示 1 → 画面表示 2 → 画面表示 切

■ 画面表示 1

現在のトラック 現在のインデックス 現在の動作状態

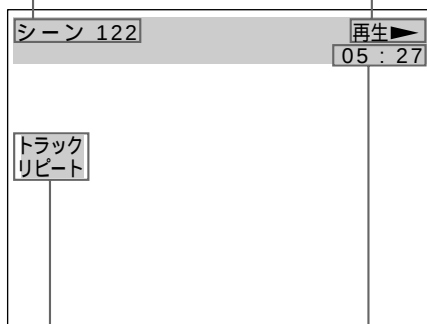


設定している
プレイモード

現在のトラック
の経過時間*

• PBC再生のとき (ビデオCDのみ)

現在のシーン 現在の動作状態



設定している
プレイモード

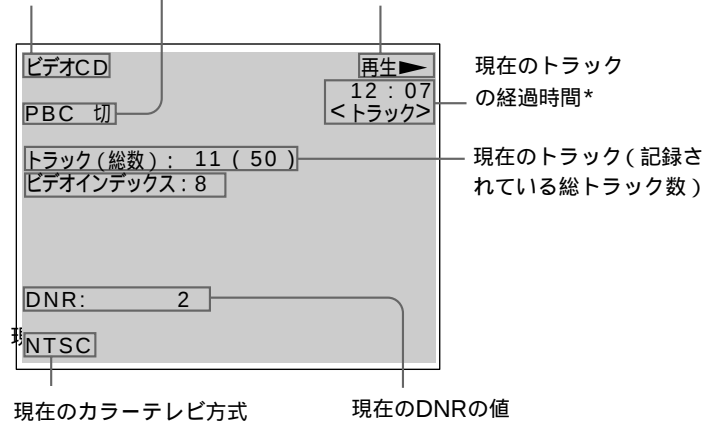
現在のシーンの
経過時間

■ 画面表示 2

現在のPBCの状態
(ビデオCDのみ)

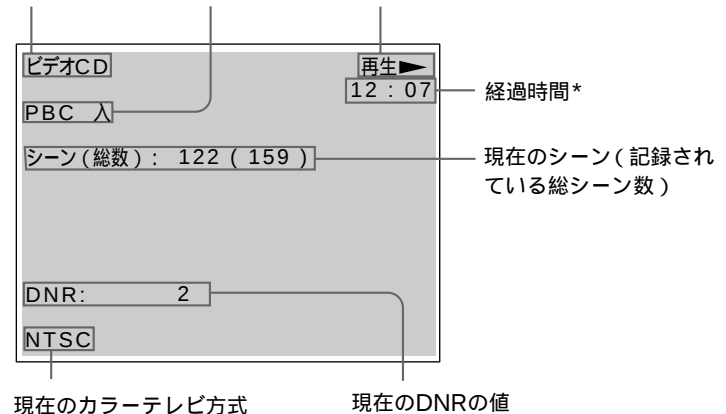
ディスク表示

現在の動作状態

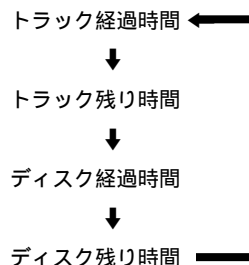


• PBC再生のとき (ビデオCDのみ)

ディスク表示 現在のPBCの状態 現在の動作状態



* 時間表示ボタンを押すごとに次のように表示が切り換わります。



なお、シャッフル再生、プログラム再生をしているときは、ディスク経過時間、ディスク残り時間は表示されません。

■ 画面表示 切

何も表示しません。(メッセージなどは表示されません。)

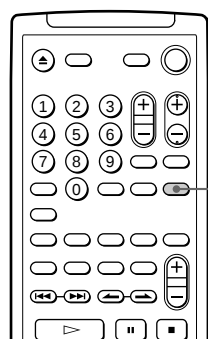
表示窓の見かた

VIDEO
CD

CD

DVD

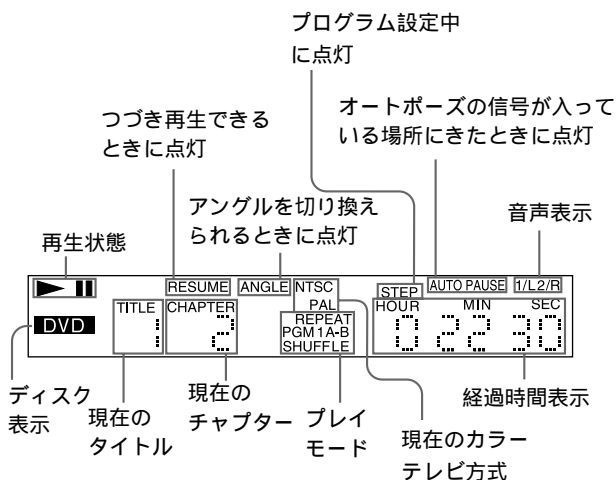
表示窓を使って、ディスクの残り時間や、DVD内の全タイトル数、CD/ビデオCDの全トラック数などを調べることができます。



時間表示ボタン

DVDを再生中のとき

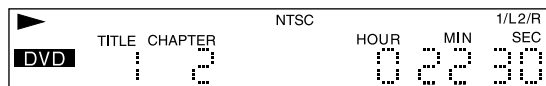
■ 再生中の表示窓



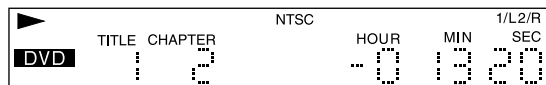
■ 再生の残り時間を調べる

再生中、リモコンの時間表示ボタンを押す。押すたびに再生中のタイトルまたはチャプターの残り時間などが次のように表示されます。同時に画面表示1、2の時間表示も切り換わります。

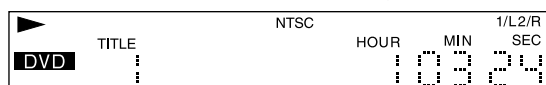
再生中のチャプター番号と経過時間



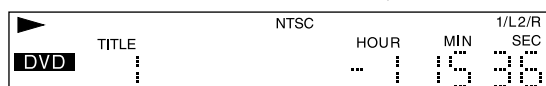
再生中のチャプターの残り時間



再生中のタイトル番号と経過時間



再生中のタイトルの残り時間



ご注意

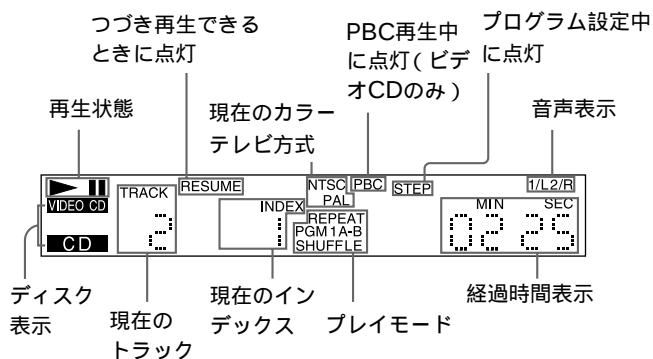
- DVDによってはチャプター番号や時間が表示されない場合があります。
- シャッフル再生、プログラム再生をしているときは、ディスク経過時間、ディスク全体の残り時間は表示されません。

CD/ビデオCDを再生中のとき

VIDEO
CD

CD

■ 再生中の表示窓



ビデオCDでPBC再生しているときはトラック番号、インデックス番号の代わりに再生中のシーン番号が表示されます。このとき時間表示ボタンを押しても表示窓は変化しません。

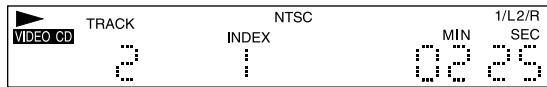
■ 再生の残り時間を調べる

再生中、時間表示ボタンを押す。

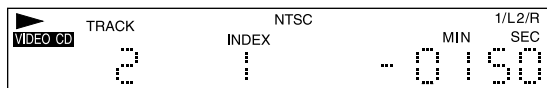
押すたびに再生中のトラックまたはディスク全体の残り時間などが次のように表示されます。同時に画面表示1、2の時間表示も切り換わります。

ビデオCDでPBC再生しているときは、表示窓は変化しません。

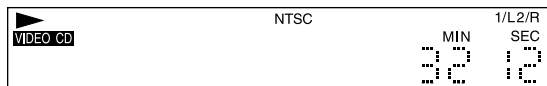
再生中のトラック番号と経過時間



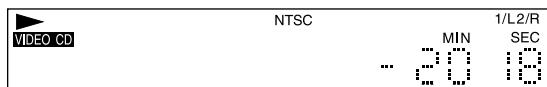
再生中のトラックの残り時間



ディスク経過時間



ディスク全体の残り時間



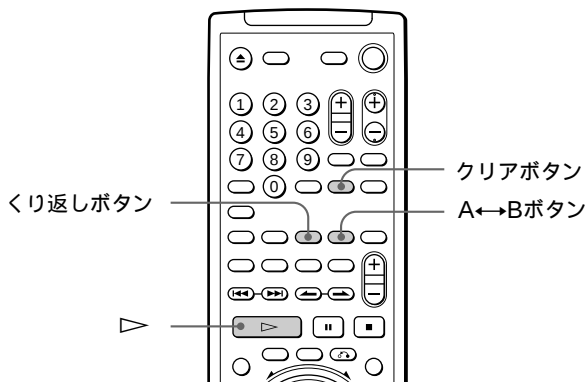
ご注意

シャッフル再生、プログラム再生およびビデオCDのPBC再生をしているときは、ディスク経過時間、ディスク全体の残り時間は表示されません。

繰り返し再生する

(リピート再生)

ディスク全体(全タイトル/全トラック)または1つのタイトル/チャプター/トラックだけ、1つのタイトル/チャプター/トラック内の再生したい部分だけを繰り返し再生できます。



ディスク全体(全タイトル/全トラック)を繰り返し再生する **DVD** **VIDEO CD** **CD**

シャッフルまたはプログラム再生など曲順を変えたときは、その順で繰り返します。

ビデオCDのPBC再生(23ページ)では、繰り返し再生できません。またDVDによっては繰り返し再生ができない場合があります。

再生中、くり返しボタンを押す。

画面に「ディスクリピート」が表示され、次のように繰り返し再生できます。リピート中は表示窓に「REPEAT」が点灯します。

再生状態	繰り返される内容
ふつうの再生 (16、20ページ)	全タイトル/全トラックを順に
シャッフル再生 (29ページ)	全タイトル/全トラックを繰り返すたびに 順番を変えて
プログラム再生 (30ページ)	プログラムしたタイトル/チャプター/ トラック順に

全タイトル/全トラックのリピート再生をやめるときはクリアボタンを押します。

1タイトルまたは1チャプターだけを繰り返し再生する **DVD**

ふつうの再生(16ページ)のときのみ、1つのタイトルまたはチャプターだけを繰り返し再生できます。DVDによっては繰り返し再生ができない場合があります。

■ 1タイトルを繰り返し再生する

繰り返ししたいタイトルを再生中、画面に「タイトルリピート」が出るまでくり返しボタンを数回押す。再生中のタイトルが繰り返し再生できます。

■ 1チャプターを繰り返し再生する

繰り返ししたいチャプターの再生中、画面左上に「チャプターリピート」が出るまでくり返しボタンを数回押す。

再生中のチャプターが繰り返し再生できます。このとき、表示窓に「REPEAT 1」が点灯します。

チャプターリピートのときは、
「チャプター」と表示されます



1タイトルまたは1チャプターだけのリピート再生をやめるときは
クリアボタンを押します。

1トラックだけを繰り返し再生する **VIDEO CD** **CD**

ふつうの再生(20ページ)のときのみ、1つのトラックだけを繰り返し再生できます。

繰り返ししたいトラックを再生中、画面に「トラックリピート」が表示されるまでくり返しボタンを数回押す。



表示窓に「REPEAT 1」が点灯し、再生中のトラックが繰り返し再生できます。

1トラックだけのリピート再生をやめるときは
クリアボタンを押します。

再生したい部分だけを繰り返す (A↔Bリピート) DVD VIDEO CD

再生したい部分を指定して、繰り返し再生できます。語学学習や歌詞を覚えるときに便利です。

ビデオCDのPBC再生(23ページ)では、動画の再生中にだけできる操作です(動画の部分だけで繰り返す部分を指定できます)。

DVDによっては繰り返し再生ができない場合があります。

- 1 再生中に繰り返す部分の始点(A点)でA↔Bボタンを押す。
A点が設定されます。画面に「A-B リピート」が表示され、「B」の部分が点滅します。

A-B
リピート

表示窓の「REPEAT A-B」も点灯し、「B」の部分が点滅します。

- 2 繰り返す部分の終点(B点)でもう1度A↔Bボタンを押す。
画面の「REPEAT A-B」が消え、指定した部分をくり返します。

A↔Bリピート中は表示窓の「REPEAT A-B」が点灯します。

A↔Bリピートをやめるときは
クリアボタンを押します。

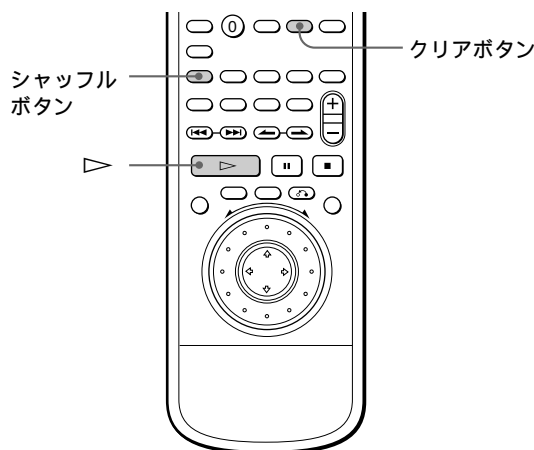
ご注意

- 次のときには、設定したA↔Bリピートは消えます。
- ディスクトレイを開閉したとき
- 電源をOFFにしたとき
- A↔Bリピートを設定すると、シャッフル再生やプログラム再生は解除されます。
- DVD、ビデオCDの場面によっては、A↔Bリピートの設定ができない場合があります。

順不同に再生する

(シャッフル再生) DVD VIDEO CD

ディスク上のタイトル番号やトラック番号に関係なく、本機がランダム(無作為)に順番を選んで、ひと通り再生します。



- 1 シャッフルボタンを押す。
- 2 ▷を押す。
シャッフル再生が始まります。
(再生中は手順1のみでシャッフル再生が始まります。)

シャッフル再生からふつうの再生に戻すときは
クリアボタンを押します。

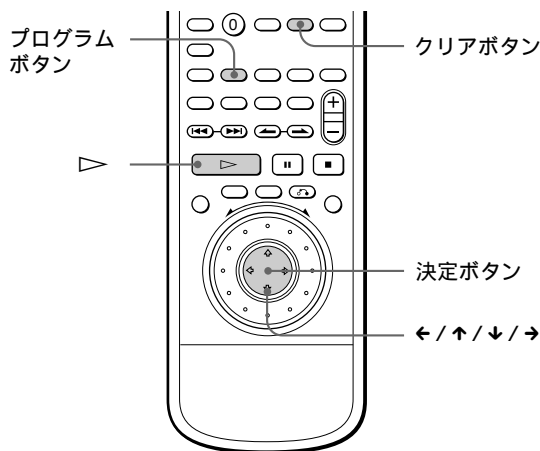
ご注意

- 以下の場合、次に再生するときふつうの再生に戻ります。
- ディスクトレイを開閉したとき
- 電源をOFFにしたとき
- DVDによってはシャッフル再生ができない場合があります。
- DVDではタイトルのみのシャッフル再生になります。

好きな順に再生する

(プログラム再生) DVD VIDEO CD

タイトルやチャプター、トラックを選んで好きな順に再生できます。最大99まで、再生したい順にプログラムできます。

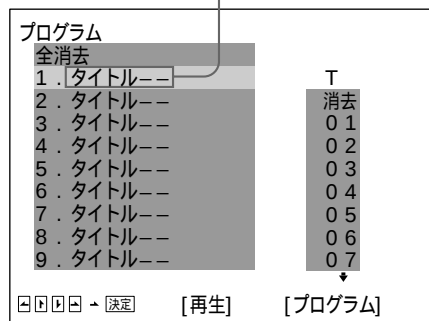


1

プログラムボタンを押す。

プログラム設定画面が出ます。

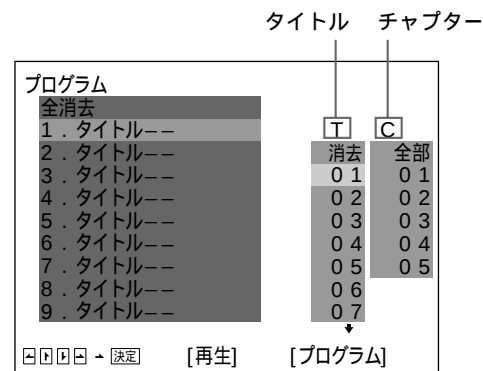
CD/ビデオCDではトラックと表示されます



2

→ を押す。

プログラム01が選ばれます。

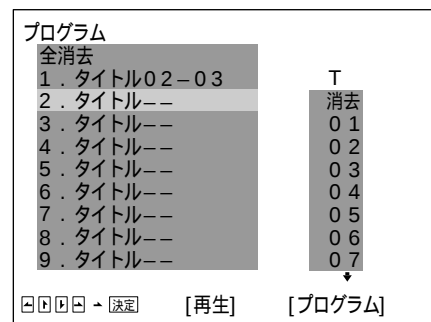
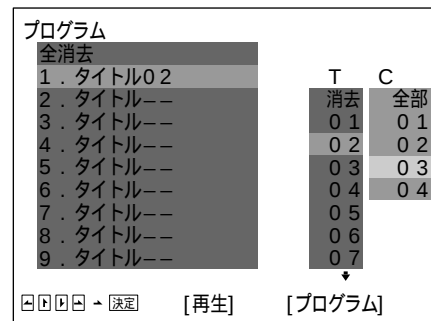


3

再生したいタイトル/チャプター/トラックを ↑/↓ で選んで、決定ボタンを押す。たとえば、タイトルまたはトラック2を選ぶ。(数字ボタンで選んで、決定ボタンを押して選択することもできます。このとき選択した番号が画面に表示されます。)

DVDのとき

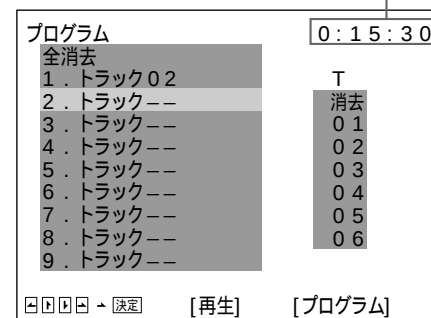
タイトルとチャプターの両方が記録されている場合は、タイトルを選んでから、チャプターを選択する。



CD/ビデオCDのとき

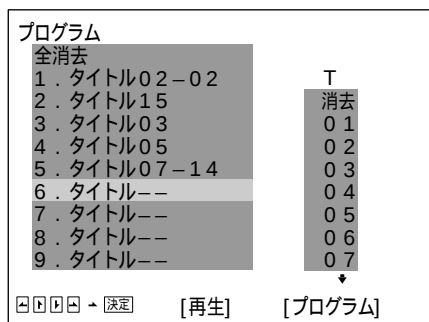
ディスクに記録されているトラックの中から再生するトラックを選ぶ。

プログラムした
トラックの総時間



4 他に再生するタイトル/チャプター/トラックを設定したいときは、手順3を繰り返す。

選択したタイトル/チャプター/トラックがプログラム設定画面の 02、03、... の順に表示されます。



5 ▷を押す。

設定した順に再生が始まります。

プログラム再生からふつうの再生に戻るときはクリアボタンを押します。

プログラムの設定をやめるときはプログラムボタンを押します。

プログラムの設定を変更するとき
手順2で、↑/↓を使って変更したいプログラム番号を選びます。そのあと手順3の操作で新しい設定を入力します。

設定したプログラムを消すには
すべて消すときは、手順2で「全消去」を選びます。ひとつだけ消すときは、手順2で↑/↓を使って消したいプログラムを選んでクリアボタンを押すか、手順3で「消去」を選びます。

💡 プログラムすべての再生が終わっても、作ったプログラムは残っています。
▷を押すと、同じプログラムをもう1度再生します。

💡 設定したプログラムで「リピート再生」や「シャッフル再生」もできます。
プログラムを再生中に、くり返しボタンやシャッフルボタンを押してください。

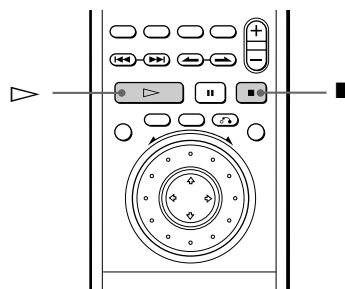
ご注意

- ・タイトル/チャプター/トラックはディスクに記録されている数だけ画面に表示されます。
- ・次のときには設定したプログラムは消えます。
 - － ディスクトレイを開閉したとき
 - － 電源をOFFにしたとき
- ・DVDによってはプログラム再生ができない場合があります。
- ・ビデオCDのPBC再生時は、再生を止めてからプログラムを設定してください。

再生を止めたあと、そのつづきから再生する

(つづき再生) DVD VIDEO CD

再生を止めたあと、表示窓の「RESUME」が点灯していると、本機が再生を止めた場所を覚えています。このときは、そのつづきから再生できます。ディスクトレイを開けない限り、つづき再生は電源を切っても使えます。



1 ディスクの再生中、■を押して、再生を止める。

表示窓に「RESUME」が点灯します。また、テレビ画面には「次に再生するときはこちらから再生します」と表示されます。

「RESUME」が点灯しないときは
つづき再生はできません。

2 ▷を押す。

手順1で再生を止めた場所から、再生が始まります。

💡 ディスクを最初から再生したいときは
停止中に「RESUME」が点灯しているとき、■を押して「RESUME」表示を消してから、▷を押します。

ご注意

- ・DVDによってはつづき再生ができない場合があります。
- ・シャッフルまたはプログラム再生ではできません。
- ・再生を止めた場所によっては、つづきからの再生がずれて始まる場合があります。
- ・次のときには場所の記憶は消えます。
 - － ディスクトレイを開閉したとき
 - － 電源コードを抜いたとき
 - － プレイモードを変えたとき
 - － タイトルやチャプター、トラックを選んでから、再生を始めたとき
 - － SET UP(設定)画面の「言語設定」の「DVDメニュー言語」、「音声言語」、「字幕言語」の設定を変更したとき
 - － SET UP(設定)画面の「初期設定1」の「TVタイプ」、「視聴年齢制限」の設定を変更したとき

画像の背景のちらつきをおさえる(DNR*) DVD VIDEO CD

画像のちらちらした背景のノイズをおさえて、すっきりさせることができます。



DNRボタンを押す。

押すたびにDNRの値が次のように変わります。値を大きくするほどノイズをおさえることができますが、画面の残像も増えることがあります。

0 → 1 → 2 → 3
↑

値が「0」のときは、DNRは動きません。

ご注意

- ディスクによってはDNRの効果がわかりにくいことがあります。
- テレビに残像が現れるときは、テレビのノイズ低減機能をオフしてから、本機でDNRを「0」にしてください。

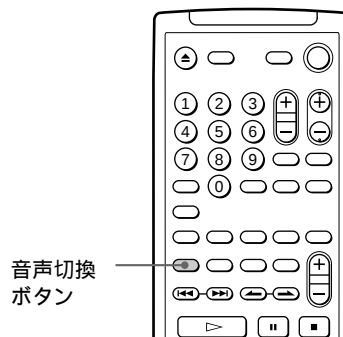
デジタル ビデオ ノイズ リダクション

* DNRとはDigital Video Noise Reductionの略です。

音声を切り換える

DVD VIDEO CD

DVDの中には、複数の言語(マルチランゲージ)で音声記録されているものがあります。このようなDVDでは、再生中に好きな言語の音声に切り換えられます。またカラオケのビデオCDなどでは、音声を切り換えてボーカルのトラックを消せるものもあります。このときの音声はモノラルです。



再生中、音声切換ボタンを押す。

押すたびに、表示とスピーカーから聞こえる音声切り換わります。

■ DVDのとき

音声1 → 音声2 →



音声 1 : 日本語

■ CD/ビデオCDのとき

1/L : 左チャンネルの音



2/R : 右チャンネルの音



ステレオ (1/L 2/R) : 通常のステレオ再生

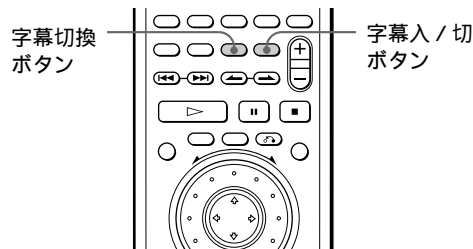
ご注意

- DVDによっては複数の言語が記録されていても、切り換えを禁止している場合があります。
- CD/ビデオCDのときは、電源を切ったり、ディスプレイを開閉すると通常のステレオ再生に戻ります。
- DVDではタイトルを変えたり、ディスプレイを開閉すると、音声切り換わる場合があります。
- 4桁の数字で言語が表示されるときは、57ページの言語コード一覧表を参照してください。

字幕を表示する

DVD

DVDの中には、字幕が記録されているものがあります。この字幕は再生中であれば好きなときに表示したり消したりできます。またDVDに複数の言語で字幕が記録されているときは、再生中の好きなときに切り換えられます。



字幕を表示する

再生中、字幕入/切ボタンを押す。
画面に字幕が表示されます。

表示されている字幕を消すときは
もう1度字幕入/切ボタンを押します。

ご注意

- 字幕が記録されていないディスクでは、字幕を表示させることはできません。
- DVDによっては字幕が記録されていても、字幕表示を禁止しているものもあります。
- DVDによっては、字幕を消すことを禁止している場合があります。
- 4桁の数字で言語が表示されるときは、57ページの言語コード一覧表を参照してください。

字幕を切り換える

再生中、字幕切換ボタンを押す。
押すたびに画面の字幕が切り換わります。

字幕1 → 字幕2 →



字幕入 1 : 日本語

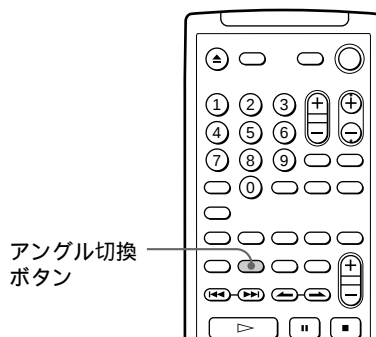
ご注意

- 記録されている字幕の言語の種類や数はDVDによって異なります。
- DVDによっては複数の字幕が記録されていても、切り換えを禁止している場合があります。
- タイトルを変えたり、ディスクトレイを開閉すると、字幕が切り換わる場合があります。

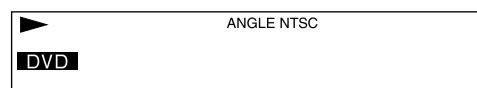
アングルを切り換える

DVD

DVDの中には、同じ場面が複数のアングルで記録されているもの(マルチアングル)があります。このようなDVDでは、再生中であれば好きなアングルに切り換えながら見られます。



再生中、表示窓に「ANGLE」と表示されているときにアングル切換ボタンを押す。



押すたびに、再生中の場面のアングルが変わります。

アングル1 → アングル2 →



アングル 1

 あらかじめアングルを指定しておくことができます。

表示窓に「ANGLE」と表示されていないときにアングル切換ボタンを押しておけば、アングルを切り換えられる場面で自動的にアングルが切り換わります。

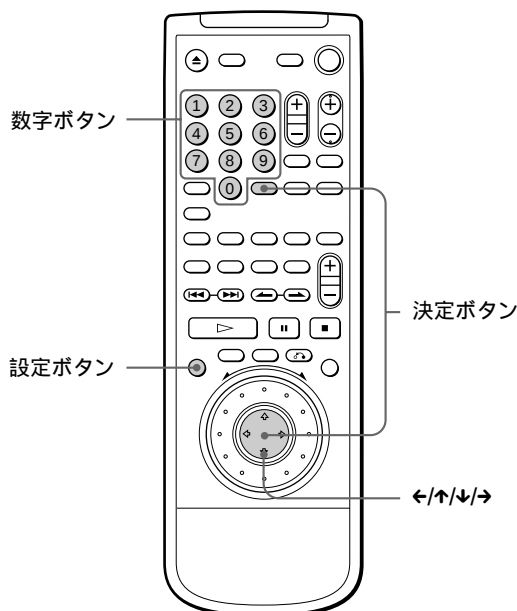
ご注意

- 切り換えられるアングルの数は、DVDによっても場面によっても異なります。DVDのその場面に記録されているアングルの数だけ切り換えることができます。
- DVDによっては複数のアングルが記録されていても、切り換えを禁止している場合があります。

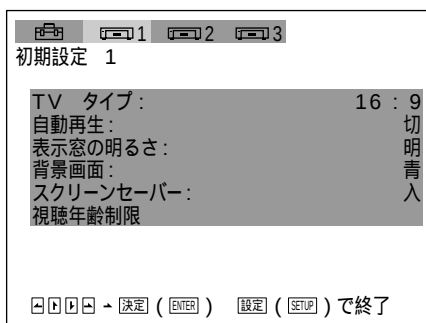
年齢による視聴制限をする



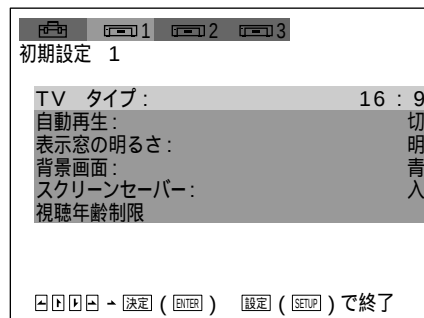
DVDの中には、見る人の年齢によって視聴を制限できるものがあります。本機には、この視聴制限レベルを設定しておく機能があります。



- 1 停止中に、設定ボタンを押す。
SET UP (設定) 画面が出ます。

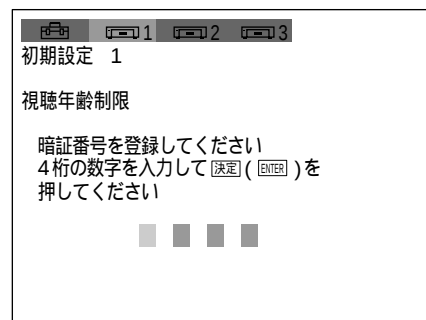


- 2 画面の上の項目から←/→ で「1」を選んで、↓ または決定ボタンを押す。

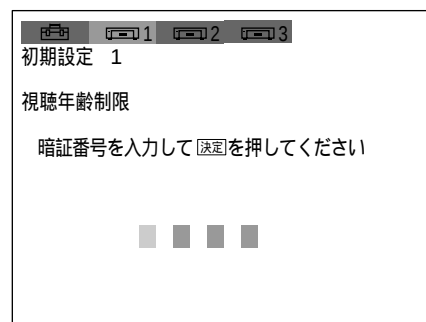


- 3 ↑/↓ で「視聴年齢制限」を選んで、決定ボタンを押す。

- 暗証番号がまだ登録されていないとき
「視聴年齢制限」の暗証番号入力画面が出ます。



- 暗証番号がすでに登録されているとき
「視聴年齢制限」の暗証番号確認画面が出るので、手順 4 をとばして手順 5 に進みます。



- 4 設定したい4けたの暗証番号を数字ボタンで入力し、決定ボタンを押す。

決定ボタンを押すと数字は「*」に変わり、暗証番号確認の画面になります。

初期設定 1

視聴年齢制限

確認のため、登録した4桁の数字を再入力して [決定] (ENTER) を押してください

■ ■ ■ ■

- 5 確認のため、設定した暗証番号を数字ボタンで入力し、決定ボタンを押す。

視聴制限のレベル設定と暗証番号の変更の画面が出ます。

初期設定 1

視聴年齢制限

レベル: 切

使用する地域: アメリカ

暗証番号変更

[決定] (ENTER) [設定] (SETUP) で終了

- 6 ↑/↓ で「使用する地域」を選んで、→を押す。

初期設定 1

視聴年齢制限

レベル: 切

使用する地域: アメリカ

暗証番号変更

[決定] (ENTER) [設定] (SETUP) で終了

- 7 ↑/↓ で視聴制限レベルの基準にする地域を選んで、決定ボタンを押す。

初期設定 1

視聴年齢制限

レベル: 切

使用する地域: アメリカ

暗証番号変更

[決定] (ENTER) [設定] (SETUP) で終了

- 8 ↑/↓ で「レベル」を選んで→を押す。

初期設定 1

視聴年齢制限

レベル: 8

使用する地域: アメリカ

暗証番号変更

[決定] (ENTER) [設定] (SETUP) で終了

- 9 ↑/↓ で設定するレベルを選んで、決定ボタンを押す。

初期設定 1

視聴年齢制限

レベル: 4. PG13

使用する地域: アメリカ

暗証番号変更

[決定] (ENTER) [設定] (SETUP) で終了

レベルの数字が小さいほど制限が厳しくなります。

通常の画面に戻すときは
設定ボタンを押します。

暗証番号を設定したあとで、視聴年齢制限を解除して
DVDを再生するときは
手順9で「切」を選んで再生します。

暗証番号を変更したいときは

手順5で **↑/↓** を使って「暗証番号変更」を選択して、**→** または
決定ボタンを押すと、暗証番号変更の画面が出ます。このあ
ともう1度手順4から手順5の操作をすれば、新しい暗証番号
が登録されます。



設定した暗証番号を忘れてしまったときは

手順4で暗証番号の代わりに数字「199703」を入力しま
す。これにより以前の暗証番号が消えます。暗証番号を
再度設定するときは、もう1度手順4からやり直してくだ
さい。

ご注意

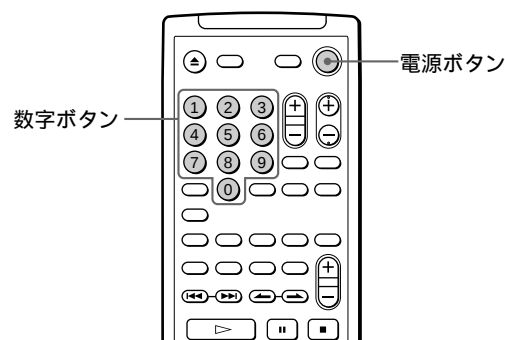
- ・視聴年齢制限がないDVDは、本機で視聴制限をしても再生
は制限できません。
- ・暗証番号の設定をしないと、設定値の変更ができません。
- ・DVDによっては、再生中に視聴制限レベルの変更を要求さ
れることがあります。このときは暗証番号を入力してレベ
ルを変更してください。なお、停止すると元のレベルに戻
ります。

使用する地域	コード番号	使用する地域	コード番号
イギリス	2184	中国	2092
イタリア	2254	デンマーク	2115
インドネシア	2238	ドイツ	2109
オーストリア	2046	日本	2276
オランダ	2376	ノルウェー	2379
カナダ	2079	フィリピン	2424
シンガポール	2501	フィンランド	2165
スイス	2086	フランス	2174
スウェーデン	2499	ベルギー	2057
スペイン	2149	香港	2219
タイ	2528	マレーシア	2363
台湾	2543		

付属のリモコンでテレビ やアンプを操作する

リモコン信号をお手持ちのテレビのメーカーに合わせ
ると、本機のリモコンでテレビのチャンネルや音量、
電源を操作できます。お買い上げ時はソニー製の $\square$
マーク付きテレビを操作できるよう設定されていま
す。

またAVアンプに本機をつないでいるときは、本機のリ
モコンでアンプの音量を調節することもできます。



リモコンで各社のテレビを操作する

リモコンの電源ボタンを押したま
ま、テレビのメーカー番号(2桁)を
数字ボタンで入力する。

テレビのメーカー	メーカー番号
ソニー	01 (お買い上げ時の設定) 12*
松下電器	02、13**
東芝	03
日立製作所	04
三菱電機	05
日本ビクター	06
三洋電機	07、15
シャープ	08、16

* 01で操作できないとき、12にしてください。

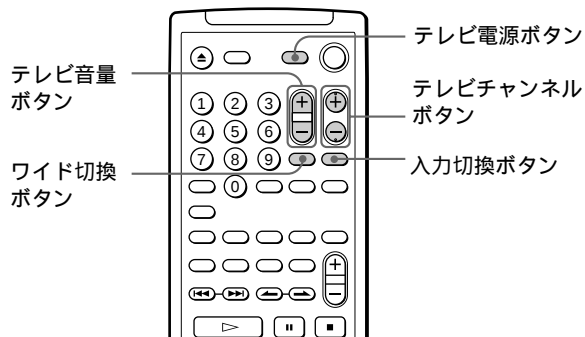
** 02で操作できないとき、13にしてください。

テレビのメーカー	メーカー番号
NEC	09
パイオニア	10
富士通ゼネラル	11
フナイ	14
アイワ	17
三星電子 (SAMSUNG)	18

ご注意

- メーカー番号を入力すると、それまでのメーカー番号は消えてしまいます。
- リモコンの電池を取り換えたときは、メーカー番号は自動的に01(ソニー)に戻ります。メーカー番号をもう1度合わせ直してください。

以下のボタンでテレビの操作ができるようになります。



押すボタン	できること
テレビ電源	テレビの電源を入/切する。
入力切換	テレビの入力を切り換える。
ワイド切換	テレビのワイドモードを切り換える。
テレビ音量	テレビの音量を調節する。
テレビチャンネル	テレビのチャンネルを変える。

ご注意

テレビによってはメーカー番号を合わせても操作できないことや、一部のボタンが使えないことがあります。

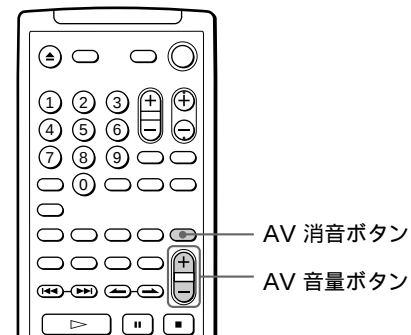
AVアンプを操作する

リモコンの電源ボタンを押したまま、本機をつないでいるAVアンプのメーカー番号(2桁)を数字ボタンで入力する。

AVアンプのメーカー	メーカー番号
ソニー	91(お買い上げ時の設定)、88、89
デンオン	84、85、86
ケンウッド	92、93
オンキヨー	81、82、83
パイオニア	99
山水電気	87
松下電器	97、98
ヤマハ	94、95、96

メーカー番号が2つ以上あるときは、順に試してAVアンプが操作できるものをお選びください。

AV消音ボタンとAV音量ボタンでAVアンプの音量を調節できるようになります。



ご注意

接続する機種によっては、AVアンプの音量が調節できないことがあります。

ドルビーデジタルや MPEGオーディオ、 DTSのサラウンドを楽しむ

ドルビーデジタルや、MPEG、DTSで音声記録されているDVDは、それぞれの音声の方式に対応したデコーダー内蔵のオーディオ機器（別売り）を接続して再生すれば、劇場のような臨場感のあるサラウンドをご家庭でお楽しみいただけます。

これらのサラウンドの信号は本機のDIGITAL OUT端子から出力されます。

SET UP（設定）画面の「初期設定3」の各項目について詳しくは45ページをご覧ください。

接続する

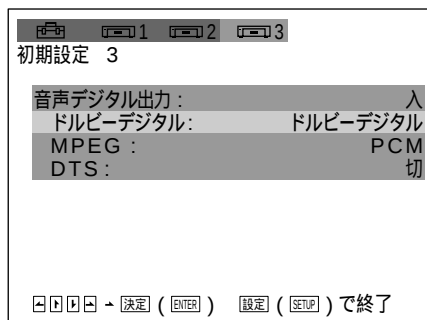
光デジタル接続ケーブル（別売り）または同軸デジタル接続ケーブル（別売り）のどちらかを使って接続します。詳しくは40ページをご覧ください。

ご注意

- 接続するときは、機器の電源を必ず切ってください。
- つなぐ機器の説明書もご覧ください。

ドルビーデジタル(AC-3)サラウンドを楽しむ

SET UP（設定）画面の「初期設定3」で「音声デジタル出力」を「入」に、「ドルビーデジタル」を「ドルビーデジタル」にする。



ご注意

- ドルビーデジタル(AC-3)デコーダー内蔵でない機器をつないだ状態で、SET UP（設定）画面の「初期設定3」の「ドルビーデジタル」を「ダウンミックスPCM」にしてドルビーデジタルの音声を再生すると、DIGITAL OUT端子からは2チャンネルにダウンミックスされた音声出力されます。
- ドルビーデジタル(AC-3)デコーダー内蔵でない機器をつないだ状態で、SET UP（設定）画面の「初期設定3」の「ドルビーデジタル」を「ドルビーデジタル」に設定しないでください。スピーカーから突然大音量が出て、耳に悪影響を及ぼしたり、スピーカーを破損したりすることがあります。

MPEGオーディオを楽しむ

SET UP（設定）画面の「初期設定3」で「音声デジタル出力」を「入」に、「MPEG」を「MPEG」にする。

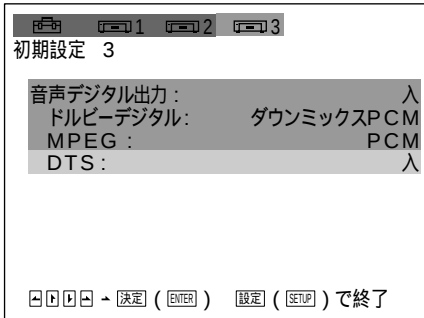


ご注意

- MPEGオーディオデコーダー内蔵でない機器をつないだ状態で、SET UP（設定）画面の「初期設定3」の「MPEG」を「PCM」にしてMPEGオーディオの音声を再生すると、DIGITAL OUT端子からはMPEGオーディオの信号から取り出された2チャンネルの音声出力されます。
- MPEGオーディオデコーダー内蔵でない機器をつないだ状態で、SET UP（設定）画面の「初期設定3」の「MPEG」を「MPEG」に設定しないでください。突然大音量が出て、耳に悪影響を及ぼしたり、スピーカーを破損したりすることがあります。

DTSを楽しむ

SET UP (設定) 画面の「初期設定3」で「音声デジタル出力」を「入」に、「DTS」を「入」にする。



- DTSデコーダー内蔵の機器をつながない状態で、DTSの音声を再生しないでください。DTSデコーダー内蔵の機器を接続せずにDTSの音声を聞くことはできません。
- CDに記録されているDTSの音声を再生すると、LINE OUT (AUDIO 1、2) 端子およびPHONES端子からは大音量が出ます。耳に悪影響を及ぼしたり、スピーカーを破損したりすることのないようご注意ください。
- DVDに記録されているDTSの音声を再生すると、LINE OUT (AUDIO 1、2) 端子およびPHONES端子からは音は出ません。

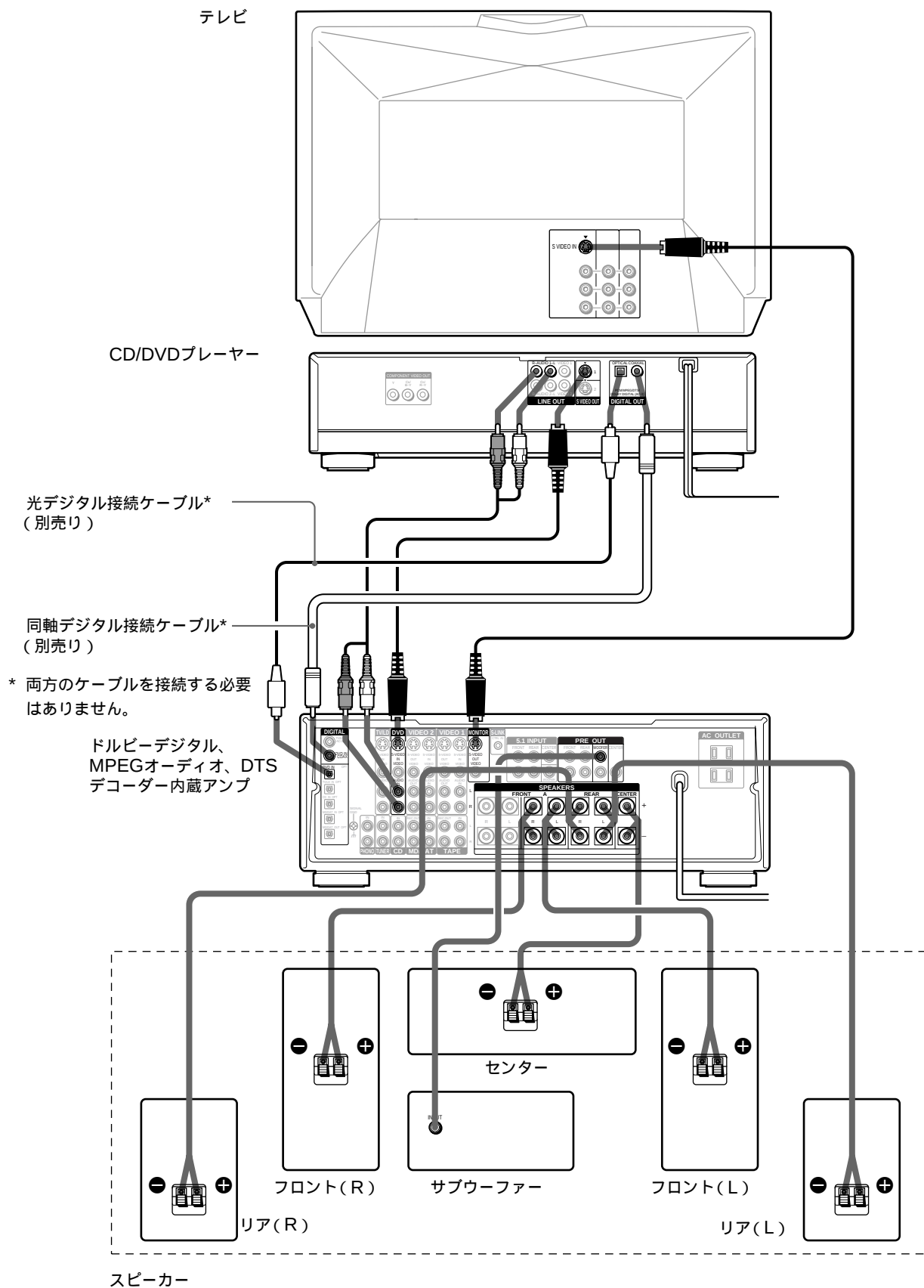
CDのDTS音声を再生するときのご注意

- DTSデコーダー内蔵の機器をつながない状態で、DTSの音声を再生しないでください。SET UP (設定) 画面の「初期設定3」で「DTS」をたとえ「切」にしても、DIGITAL OUT端子からDTSの信号が出力されるため、耳に悪影響を及ぼしたり、スピーカーを破損したりすることがあります。
- 本機のDIGITAL OUT端子からDTSの信号が出力されているときも、前面パネルのDTSインジケータは点灯しません。

DVDのDTS音声を再生するときのご注意

- LINE OUT (AUDIO 1、2) 端子およびPHONES端子からは音は出ません。
- DTSデコーダー内蔵でない機器をつないだ状態で、SET UP (設定) 画面の「初期設定3」の「DTS」を「入」に設定しないでください。突然大音量が出て、耳に悪影響を及ぼしたり、スピーカーを破損したりすることがあります。
- SET UP (設定) 画面の「初期設定3」の「DTS」を「切」にしていると、DTSの音声を再生してもDIGITAL OUT端子からは音は出ません。
- DTSの音声を再生中は、前面パネルのDTSインジケータが点灯します。

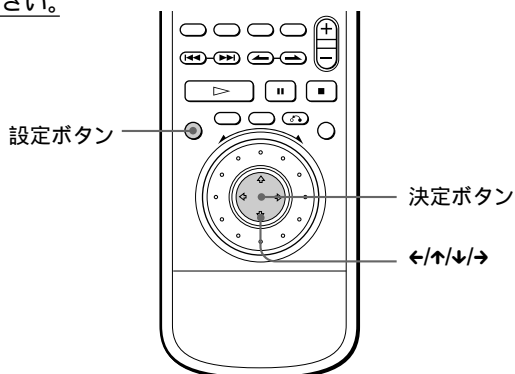
ドルビーデジタル、MPEGオーディオ、DTSなどのサラウンドを楽しむための基本的な接続例



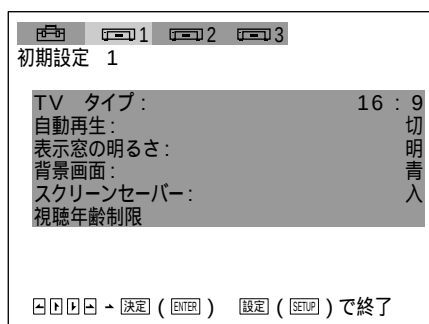
SET UP (設定) 画面での設定/調整のしかた

SET UP (設定) 画面を使って、初期設定や画質や音質の調整、さまざまな出力の設定などができます。また DVD を再生するときの、字幕の言語やメニューの表示言語、視聴年齢制限の設定などもできます。SET UP (設定) 画面の項目の詳しい内容は42～45ページをご覧ください。

SET UP (設定) 画面の項目の一覧は56ページをご覧ください。

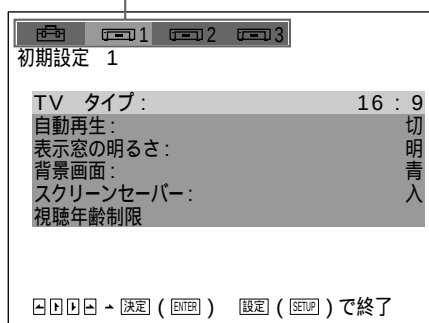


- 1 設定ボタンを押す。
SET UP (設定) 画面が出ます。

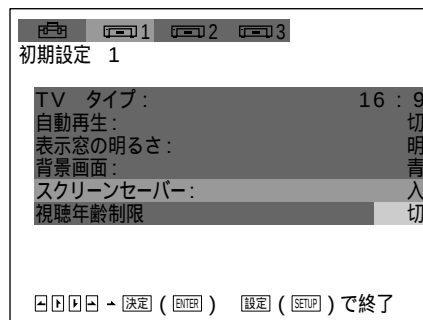


- 2 <左/右> で アイコンを選んで、<下> または 決定ボタンを押す。

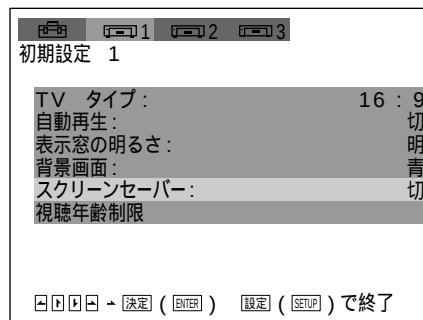
アイコン



- 3 <上/下> で項目を選んで、<右> または 決定ボタンを押す。



- 4 <上/下> で項目を選んで、決定ボタンを押す。



SET UP (設定) 画面の設定を途中でやめるには 設定ボタンを押します。

ご注意

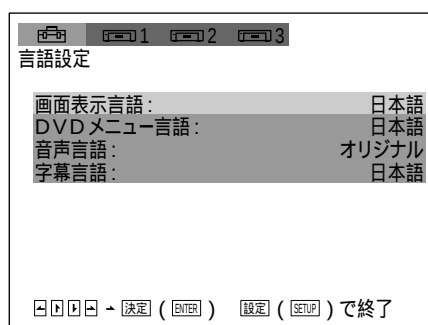
SET UP (設定) 画面の項目には、その中で項目を選ぶ以外の操作が必要なものもあります。このような項目について詳しくは、次ページからの各項目の説明に記されている参照ページをご覧ください。

表示言語や音声言語の設定(言語設定)

設定ボタンを押したあと、「」を選びます。
再生するときの表示や音声の言語を設定します。お買い上げ時は下線の付いている項目に設定されています。

ご注意

「画面表示言語」を除いては、DVDに記録されていない言語を選んだときは、記録されている言語のいずれかが選ばれます。



■ 画面表示言語

画面の表示言語を切り換えます。

- 日本語
- English

■ DVDメニュー言語

DVDに記録されているDVDメニューの言語を切り換えます。

- 日本語
- 英語
- 中国語
- ドイツ語
- フランス語
- イタリア語
- スペイン語
- ポルトガル語
- オランダ語
- その他→

「その他→」を選んだときは、57ページの言語コード一覧表から言語番号を選んで数字ボタンで入力してください。

■ 音声言語

DVDに記録されている音声の言語を切り換えます。

- オリジナル：ディスク内で優先されている言語
- 日本語
- 英語
- 中国語
- ドイツ語
- フランス語
- イタリア語
- スペイン語
- ポルトガル語
- オランダ語
- その他→

「その他→」を選んだときは、57ページの言語コード一覧表から言語番号を選んで数字ボタンで入力してください。

■ 字幕言語

DVDに記録されている字幕の言語を切り換えます。

- 日本語
- 音声連動*
- 英語
- 中国語
- ドイツ語
- フランス語
- イタリア語
- スペイン語
- ポルトガル語
- オランダ語
- その他→

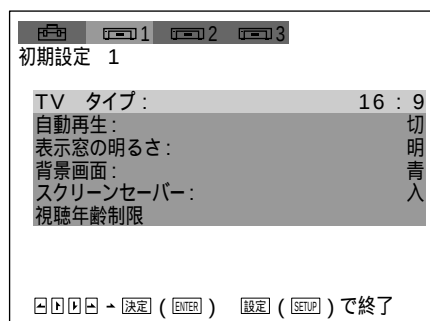
「その他→」を選んだときは、57ページの言語コード一覧表から言語番号を選んで数字ボタンで入力してください。

*「音声連動」を選ぶと、音声の言語に合わせて字幕の言語が切り換わります。

画像に関する設定

(初期設定1)

設定ボタンを押したあと、「1」を選びます。
接続するテレビの形状などを設定します。お買い上げ時は下線の付いている項目に設定されています。

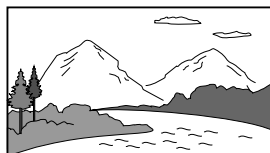


■ TVタイプ

接続するテレビのアスペクト比および通常のテレビでDVDのワイド画像を再生するときに出力する画面の形を設定します。

- 16:9
ワイドテレビのとき。
- 4:3 レターボックス
通常のテレビで、ワイド画像を横長に表示して画面の上下には帯を入れるとき。
- 4:3 パンスキャン
通常のテレビに、ワイド画像の一部を自動的にカットして画面全体に表示するとき。

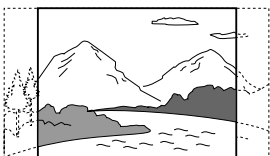
16:9



4:3 レターボックス



4:3 パンスキャン



ご注意

DVDによっては「4:3レターボックス」あるいは「4:3パンスキャン」にしても、自動的にどちらかで再生されるものがあります。

■ 自動再生

コンセントを入れたときの動作を設定します。

- 切
「タイマー」「デモ1」「デモ2」で起動しない。
- タイマー
電源が入ったとき、自動で再生を始める。別売りのタイマーを使って希望の時刻に再生を始めることができます。
- デモ1
デモンストレーション1を再生する。
- デモ2
デモンストレーション2を再生する。

■ 表示窓の明るさ

本体前面の表示窓の明るさを調整します。

- 明
明るくする。
- 暗
暗くする。
- 消
表示を消す。

■ 背景画面

停止中などの、画面の背景色を設定します。

- 青
画面の背景色を「青」にする。
- 黒
画面の背景色を「黒」にする。

■ スクリーンセーバー

一時停止したままで15分たつと、スクリーンセーバーの画面に切り換わるよう設定します。これは画像の焼き付き(残像現象)を防ぐのに役立ちます。

- 入
スクリーンセーバーを使う。
- 切
スクリーンセーバーを使わない。

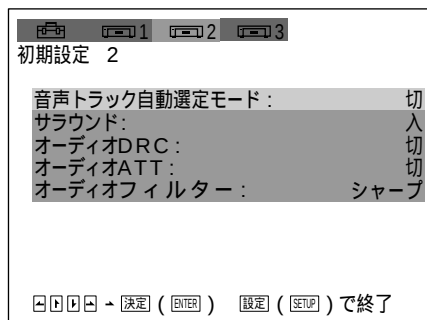
■ 視聴年齢制限

視聴年齢制限のあるDVDの再生を制限する設定をします。詳しくは34ページをご覧ください。

音声に関する設定

(初期設定2)

設定ボタンを押したあと、「2」を選びます。再生するときの音の設定を、まわりの条件に合わせて設定します。お買い上げ時は下線の付いている項目に設定されています。



■ 音声トラック自動選定モード

複数の音声方式で記録されているDVDを再生するときに、チャンネル数の最も多い音声を優先して再生するかどうかを設定します。ドルビーデジタルやMPEGオーディオ、DTSの音声と同時に記録されているときは、PCMを加えた4つの方式の中からチャンネル数の最も多い音声を選んで再生します。

- 切
優先しない。
- 入
優先する。

ご注意

- この設定を「入」にすると、言語が切り換わることがあります。これは「音声トラック自動選定モード」の設定が「言語設定」の「音声言語」(42ページ)より優先されるためです。
- チャンネル数の最も多い音声はDTSで記録されているときに「初期設定3」の「DTS」を「切」にしていると、「音声トラック自動選定モード」を「入」にしても、DTSの音声は再生されません。
- PCM、ドルビーデジタル、MPEGオーディオ、DTSで最も多いチャンネル数が同じときは、PCM、DTS、ドルビーデジタル、MPEGオーディオの順で優先して再生します。
- DVDによっては優先する音声があらかじめ決められていて、「入」に設定しても優先されないことがあります。

■ サラウンド

ドルビーデジタル(AC-3)方式で記録されているDVDを再生するときの、ダウンミックスの方式を切り換えます。

- 入
ドルビーサラウンド、ドルビープロロジックサラウンドなどに対応しているオーディオ機器に接続して音を出すときは「入」にする。
- 切
通常のオーディオ機器に接続して音を出すときは「切」にする。

■ オーディオDRC(Dynamic Range Control)

DVDを夜間など音量を下げて聞くときに、小さい音までよく聞こえるようにします。この機能は、ドルビーデジタル(AC-3)の音声を再生したときのLINE OUT(AUDIO 1、2)端子からの出力にはたります。

- 切
通常は「切」にしておく。
- 入
夜間など音量を下げて再生するときに、小さい音までよく聞こえるようにする。

ご注意

DVDによっては効果がないこともあります。

■ オーディオATT

接続する機器に合わせてLINE OUT(AUDIO 1、2)端子からの出力を調整します。

- 切
「オーディオATT」を働かせない。
- 入
音が歪まないように出力レベルを低くする。

ご注意

DIGITAL OUT端子からの出力には影響しません。

■ オーディオフィルター

22.05kHz(Fs - サンプリング周波数 - 44.1kHzのとき)、24kHz(Fs 48kHz)、48kHz(Fs 96kHz)以上の雑音を除去するために使うデジタルフィルターのタイプを設定します。

- シャープ：なめらかな音質で明瞭な音像定位が得られる。通常は「シャープ」にしておきます。
- スロー：雰囲気のあるあたたかい音で奥行き感が得られる。

ご注意

ディスクによっては、効果がわかりにくいことがあります。

出力信号に関する設定

(初期設定3)

設定ボタンを押したあと、「 3」を選びます。
DIGITAL OUT端子からの音声の出力信号の方式を設定します。お買い上げ時は下線の付いている項目に設定されています。



ご注意

「音声デジタル出力」の設定を「切」にしていると、「初期設定3」の他の項目を選ぶことはできません。

■ 音声デジタル出力

DIGITAL OUT端子からの音声信号の出力を切り換えます。

- 入
通常は「入」にしておく。
- 切
DIGITAL OUT端子から音声信号を出力しないとき「切」にしておくと、デジタル回路のアナログ回路への影響を最小限に抑えることができます。

■ ドルビーデジタル

ドルビーデジタル(AC-3)の出力を切り換えます。「音声デジタル出力」が「切」のとき、この項目は選べません。

- ダウミックスPCM
ドルビーデジタル(AC-3)デコーダー内蔵でない機器につないで音を出すときは「ダウミックスPCM」にする。ドルビーデジタルの音声を再生すると2チャンネルにダウミックスされます。ダウミックスされた出力信号をドルビーサラウンド、ドルビープロロジックなどに対応させたいときは「初期設定2」の「サラウンド」を「入」にします。
- ドルビーデジタル
ドルビーデジタル(AC-3)デコーダーを内蔵した機器につないで音を出すときは「ドルビーデジタル」にする。

ご注意

ドルビーデジタル(AC-3)デコーダー内蔵でない機器をつないだ状態で、「ドルビーデジタル」に設定しないでください。スピーカーから突然大音量が出て耳に悪影響を及ぼしたり、スピーカーを破損したりすることがあります。

■ MPEG

MPEGオーディオの出力を切り換えます。「音声デジタル出力」が「切」のとき、この項目は選べません。

- PCM
MPEGオーディオデコーダー内蔵でない機器とつないで音を出すときは「PCM」にします。MPEGオーディオの音声を再生すると2チャンネルの信号が取り出されます。
- MPEG
MPEGオーディオデコーダーを内蔵した機器につないで音を出すときは「MPEG」にする。

ご注意

MPEGオーディオデコーダー内蔵でない機器をつないだ状態で、「MPEG」に設定しないでください。スピーカーから突然大音量が出て耳に悪影響を及ぼしたり、スピーカーを破損したりすることがあります。

■ DTS

DTSの出力を切り換えます。「音声デジタル出力」が「切」のとき、この項目は選べません。

- 切
DTSデコーダー内蔵でない機器とつないで音を出すときは「切」にします。
- 入
DTSデコーダーを内蔵した機器につないで音を出すときは「入」にする。

- DTSデコーダー内蔵の機器をつながない状態で、DTSの音声を再生しないでください。DTSデコーダー内蔵の機器を接続せずにDTSの音声を聞くことはできません。
- CDに記録されているDTSの音声を再生すると、LINE OUT(AUDIO 1、2)端子およびPHONES端子からは大音量が出ます。耳に悪影響を及ぼしたり、スピーカーを破損したりすることのないようご注意ください。
- DVDに記録されているDTSの音声を再生すると、LINE OUT(AUDIO 1、2)端子およびPHONES端子からは音は出ません。

(次ページへ続く)

CDのDTS音声を再生するときのご注意

- DTSデコーダー内蔵の機器をつながない状態で、DTSの音声を再生しないでください。SET UP(設定)画面の「初期設定 3」で「DTS」をたとえ「切」にしても、DIGITAL OUT端子からDTSの信号が出力されるため、耳に悪影響を及ぼしたり、スピーカーを破損したりすることがあります。
- 本機のDIGITAL OUT端子からDTSの信号が出力されているときも、前面パネルのDTSインジケータは点灯しません。

DVDのDTS音声を再生するときのご注意

- LINE OUT(AUDIO 1、2)端子およびPHONES端子から音は出ません。
- DTSデコーダー内蔵でない機器をつないだ状態で、SET UP(設定)画面の「初期設定 3」の「DTS」を「入」に設定しないでください。突然大音量が出て、耳に悪影響を及ぼしたり、スピーカーを破損したりすることがあります。
- SET UP(設定)画面の「初期設定 3」の「DTS」を「切」にしていると、DTSの音声を再生してもDIGITAL OUT端子から音は出ません。
- DTSの音声を再生中は、前面パネルのDTSインジケータが点灯します。

使用上のご注意

設置場所について

次のような場所には置かないでください。

- ぐらついた台の上や不安定な所。
- じゅうたんや布団の上。
- 湿気の多い所、風通しの悪い所。
- ほこりの多い所。
- 直射日光が当たる所、温度が高い所。
- 極端に寒い所。
- チューナーやテレビ、ビデオデッキから近い所。
(チューナーやテレビ、ビデオデッキといっしょに使用するとき、近くに置くと、雑音が入ったり、映像が乱れたりすることがあります。特に室内アンテナのときに起こりやすいので屋外アンテナの使用をおすすめします。)

音量を調節するときは

ディスクはレコードと比べ、非常に雑音が少なくなっています。レコードをかけるときのように音声の入っていない部分の雑音を聞きながら音量を調節すると、思わぬ大きな音が出て、スピーカーを破損するおそれがあります。演奏を始める前には音量を必ず小さくしておきましょう。

ステレオを聞くときのエチケット

ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞かせください。特に、夜は小さな音でも周囲にはよく通るものです。窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるなどお互いに心を配り、快適な生活環境を守りましょう。このマークは音のエチケットのシンボルマークです。



結露について

部屋の暖房を入れた直後など、内部のレンズに水滴がつくことがあります。これを結露といいます。このときは、正常に動作しないばかりでなく、ディスクや部品を傷めることがあります。本機を使わないときは、ディスクを取り出しておいってください。

結露が生じたときは、ディスクを取り出して、電源を入れたまま約30分放置し、再度電源を入れ直してからお使いください。もし何時間たっても正常に動作しないときは、サービス窓口にご相談ください。

本体のお手入れのしかた

キャビネットやパネル面の汚れは、中性洗剤を少し含ませた柔らかい布でふいてください。シンナーやベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので使わないでください。

残像現象(画像の焼きつき)のご注意

DVDメニューやタイトルメニュー、ビデオCDのメニュー、本機のSET UP(設定)画面などの静止画をテレビ画面に表示したまま長時間放置しないでください。画面に残像現象(画像の焼きつき)を起こす場合があります。特にプロジェクションテレビでは残像現象(画像の焼きつき)が起こりやすいのでご注意ください。

ディスクの取り扱い上のご注意

取り扱いかた

- 再生面に手を触れないように持ちます。
- 紙やシールを貼らないでください。
- ディスクにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、はがした痕があるものはお使いにならないでください。そのまま本機にかけるとディスクが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。

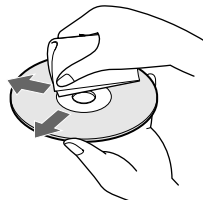


保存のしかた

- 直射日光が当たるところなど温度の高い所、湿度の高い所には置かないでください。
- ケースに入れて保存してください。ケースに入れずに重ねたり、立てかけておくと変形の原因になります。

お手入れのしかた

- 指紋やほこりによるディスクの汚れは、映像の乱れや音質低下の原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- ふだんのお手入れは、柔らかい布でディスクの中心から外の方へ軽くふきます。



- 汚れがひどいときは、水で少し湿らせた柔らかい布でふいた後、さらに乾いた布で水気をふき取ってください。
- ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは、ディスクを傷めることがありますので、使わないでください。

本機でお使いいただける音楽CDは円形ディスクのみです。円形以外の特殊な形状(星形、ハート型など)をしたディスクを使用すると、本機の故障の原因となることがあります。

故障かな？と思ったら

本機の調子がおかしいとき、修理に出す前にもう1度点検してください。それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口、お客様ご相談センターにお問い合わせください。

電源が入らない。

- POWERスイッチのランプが点灯していなければ、電源コードがしっかり差し込まれているか確認する。

映像が出ない。

- 接続コードのプラグがしっかり差し込まれていない。
- 接続コードが断線している。
- テレビの入力端子を間違えている(11ページ)。
- テレビの電源が入っていない。
- テレビの入力切換でCD/DVDプレーヤーの映像が映るようにしていない。

音が出ない。

- 接続コードのプラグがしっかり差し込まれていない。
- 接続コードが断線している。
- アンプの入力端子を間違えている(11ページ)。
- アンプまたはテレビの電源が入っていない。
- アンプの入力切換でCD/DVDプレーヤーの音声が映るようにしていない。
- 一時停止、スロー再生になっている。
- 早送り1、2/早戻し1、2になっている。
- SET UP(設定)画面の「初期設定3」の「音声デジタル出力」が「切」になっているときは、DIGITAL OUT端子から音声は出力されません。
- DTSデコーダー内蔵の機器を接続しない限りDTSの音声を聞くことはできません。

リモコンで操作できない。

- リモコンと本体との間に障害物がある。
- リモコンと本体との距離が離れている。
- 本体のリモコン受光部に向けて操作していない。
- リモコンの電池が消耗している。

映像が乱れる。

- ディスクに汚れ、傷がある。
- 本機の映像出力をビデオデッキを経由してテレビに接続していると、一部のDVDプログラムに使用されているコピープロテクション信号が画質に悪影響を及ぼす可能性があります。本機をテレビに直接接続しているにもかかわらず画質に問題が生じる場合は、テレビのS映像入力端子への接続をお試しください。

雑音が多い。

- ディスクに汚れ、傷がある。
- CDに記録されたDTSの音声を再生すると、LINE OUT(AUDIO 1、2)端子からは大きなノイズが出ます。

音がひずむ。

- SET UP(設定)画面の「初期設定2」の「オーディオATT」を「入」にする。

再生が始まらない。

- ディスクが入っていない。(テレビ画面に、「ディスクを入れてください」の表示が出ている。)
- ディスクが裏返しに入っている。(再生面を下にする。)
- ディスクが斜めにずれて入っている。
- ディスクに汚れ、傷がある。
- CD-ROMなどの、再生できないディスクを入れている(9ページ)。
- 本機で再生できない地域番号のDVDを入れている(8ページ)。
- 結露している。ディスクを取り出して電源を入れたままの状態で約30分放置し、再度電源を入れ直してから再生を始める(47ページ)。

再生がディスクの最初から始まらない。

- リピート、シャッフル、プログラム再生になっている(28ページ~30ページ)。
- 「つづき再生」になっている。停止中に、本体またはリモコンの■(停止)ボタンを押し、表示窓の「RESUME」を消してから、再生を始める(31ページ)。
- 自動的にタイトルメニュー、DVDメニュー、PBCのメニューの画面に入るディスクを入れている(19、23ページ)。

DVDのタイトルを選択しても、再生が始まらない。

- 視聴年齢制限の機能が働いている(34ページ)。

再生が自動的に始まる。

- 自動的に再生が始まるDVDを入れている。
- SET UP(設定)画面の「初期設定1」で「自動再生」を「切」にする(43ページ)。「切」以外にしていると、電源を入れたときに自動的に再生が始まります。

再生が自動的に止まる。

- ディスクによってはオートポーズ信号が記録されているものがあります。このようなディスクを再生するときは、オートポーズ信号のところで自動的に再生が止まります。

ストップ、サーチ、スロー等の操作ができない。

- 操作を禁止しているディスクを再生している(10ページ)。ディスクに付属の説明書もあわせてご覧ください。

プレイモードのいろいろな再生(シャッフル再生、プログラム再生等)ができない。

- DVD、ビデオCDによってはできない場合があります。

画面に英語でメッセージが表示される。

- SET UP(設定)画面の「言語設定」の「画面表示言語」が「English」になっている(42ページ)。

音声言語を変更できない。

- 再生しているDVDに複数の音声言語が記録されていない。
- 音声言語の切り換えを禁止しているDVDを再生している。

字幕を変更できない。

- 再生しているDVDに複数の字幕が記録されていない。
- 字幕の変更を禁止しているDVDを再生している。

音声言語が自動的に切り換わる。

- SET UP(設定)画面の「初期設定2」の「音声トラック自動選定モード」の設定が「言語設定」の「音声言語」より優先されるため、音声の言語が自動的に切り換わることがあります。

字幕を消すことができない。

- 字幕表示を消すことを禁止しているDVDを再生している。

アングルを変更して見るができない。

- 再生しているDVDに複数のアングルが記録されていない。
- 表示窓の「ANGLE」が点灯していない場面で、アングルを切り換えている(33ページ)
- アングルの変更を禁止しているDVDを再生している。

DVDのワイド画像を再生したときに、画像アスペクト比を変更できない。

- 画像アスペクト比が固定されているディスクを再生している(11、43ページ)
- テレビによってはアスペクト比が固定されているものがあります。
- S映像出力ケーブルを直接テレビに接続していない。(S映像端子で接続していて、本機とテレビの間にセレクターやAVアンプが接続されている。)

ビデオCDのメニュー画面が表示されない。

- PBC対応でないビデオCDを再生している。
- PBC対応のビデオCDで決められた操作をしていない。(ビデオCDの取扱説明書もあわせてご覧ください。)

ビデオCD、CDを再生したときに、音に奥行き感がなく、モノラルのように聞こえる

- リモコンの音声切換ボタンでモノラルを選択している(表示窓の「1/L」または「2/R」が点灯している)(32ページ)

テレビ画面に5桁の数字が表示されている

- 自己診断機能が働いています。50ページの表を見て対応してください。

ご注意

静電気などの影響で正常に動作しなくなったときは、電源コンセントを抜き差しして、もう一度動作させてください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書の「故障かな?と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかを点検してください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にある近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間の経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、CD/DVDプレーヤーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能期間とさせていただきます。保有期間を経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますのでお買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

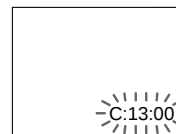
なお、補修用性能部品の保有期間は通商産業省の指導にもよるものです。

ご相談になるときは、次のことをお知らせください。

- 型名: DVP-S7700
- 故障の状態: できるだけ詳しく
- 自己診断機能の状況:
- 故障したときに再生していたディスク:
- 購入年月日:
- お買い上げ店:

自己診断機能について(アルファベットで始まる表示が出たら)

本機の異常を未然に防ぐため、自己診断機能が働くと、テレビ画面と表示窓にアルファベットと数字で5桁のサービス番号(例:C:13:00)が表示され、点滅します。その際は次のように対応してください。



コード番号の 最初の3桁	これが原因です	次のことを確認してください
C13	ディスクが汚れている	柔らかい布でディスクを拭く(47ページ)
C31	ディスクが正しく入っていない	ディスクを正しく入れ直す
EXX(XXは任意の数)	異常を未然に防ぐため自己診断機能が働きました。	お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。その際はサービス番号の5桁すべてをお知らせください。 例:E6110

主な仕様

システム

形式	CD/DVDプレーヤー
信号方式	EIAJ標準、 NTSC (/PAL) カラー方式

音声特性

周波数特性	DVD (PCM96kHz再生時) : 2Hz ~ 44kHz ($\pm 0.5\text{dB}$) * DVD (PCM48kHz再生時) : 2Hz ~ 22kHz ($\pm 0.5\text{dB}$) * CD : 2Hz ~ 20kHz ($\pm 0.5\text{dB}$) *
信号対雑音比 (S/N比)	115dB* (LINE OUT (AUDIO 1, 2) 端子のみ)
全高調波ひずみ率	0.0018%*
ダイナミックレンジ	DVD: 103dB* CD: 100dB*
ワウ・フラッター	測定限界 ($\pm 0.001\%$ W PEAK) 以下*

入出力端子

端子名	端子形状	最大出力 レベル	負荷インピー ダンス
LINE OUT (AUDIO 1,2)	ピンジャック	2Vrms (50k Ω)	10k Ω 以上
DIGITAL OUT (OPTICAL)	光出力 コネクター	-18dBm	発光波長 660nm
DIGITAL OUT (COAXIAL)	ピンジャック	0.5 V _{P-P}	75 Ω 終端
LINE OUT (VIDEO1, 2)	ピンジャック	1.0V _{P-P}	75 Ω 同期負
COMPONENT VIDEO OUT (Y, C _B /B-Y, C _R /R-Y)	ピンジャック Y: 1.0V _{P-P} C _B /B-Y、 C _R /R-Y : 0.7V _{P-P}		75 Ω 同期負 75 Ω 終端
S VIDEO OUT1, 2	4ピンミニ DIN	輝度信号 : 1.0V _{P-P} 色信号 : 0.286 V _{P-P}	75 Ω 同期負 75 Ω 終端
PHONES	ステレオ標準 ジャック	12mW (可変最大)	32 Ω

電源、その他

電源	AC 100V、50/60Hz
消費電力	18W
最大外形寸法	430 × 111 × 335mm (幅 / 高さ / 奥行き)
質量	約 7.0kg
許容動作温度	5 ~ 35°C
許容動作湿度	5 ~ 90%

付属品

10ページをご覧ください。

* EIAJ (日本電子機械工業会) の規格による測定値です。
96kHz PCM 音声は、DIGITAL OUT (OPTICAL、
COAXIAL) 端子からは48kHz / 16bitに変換されて出力
されます。

仕様および外観は、改良のため、予告なく変更することがあ
りますが、ご了承ください。

用語解説

視聴年齢制限

国ごとの規制レベルに合わせて視聴年齢制限に対応したディスクの再生を制限する、というDVDの機能のひとつ。制限のしかたはDVDによって異なり、全く再生できない場合や過激な場面をとばしたり、別の場面に差し替えて再生する場合などがある。

タイトル

DVDに記録されている映像や曲の区切りのいちばん大きな単位。通常は映像ソフトでは映画1作品、音楽ソフトではアルバム1枚(あるいは1曲)にあたります。それぞれのタイトルに順に付けられた番号をタイトル番号という。

チャプター

DVDに記録されている映像や曲の区切りで、タイトルより小さい単位。1つのタイトルはいくつかのチャプターで構成され、それぞれのチャプターに順に付けられた番号をチャプター番号という。

トラック

CDやビデオCDに記録されている、映像や曲の区切り(1曲分)のこと。それぞれのトラックに順に付けられた番号をトラック番号という。

ドルビーデジタル(AC-3)

ドルビー社の開発した音声のデジタル圧縮技術であり、5.1チャンネル・サラウンドに対応している。ドルビーデジタルの映画と同じ5.1チャンネルをハイクオリティでお楽しみいただけます。

ビットレート

DVDに圧縮して記録されている画像の、1秒あたりの情報量を示す値。単位はMbps(Mega bit per second)で、1Mbpsは1秒あたりの情報量が1,000,000ビットであることを表す。この値が大きいほど画像の情報量は多くなるが、必ずしも画質とは直接関係しない。

ビデオCD

動画の記録されているCD。

ビデオCDでは、デジタル圧縮技術の世界標準規格のひとつ、「MPEG1」(エムペグ1)を使うことにより、映像情報を平均約140分の1に圧縮している。これにより、12cmのディスクに最大74分までの動画を記録できる。

また、音声情報についても、人間には基本的には聴こえない音声を圧縮して記録し、従来の音楽用CDと比較すると、音声情報も約6分の1に圧縮している。

ビデオCDには、動画や音声の再生だけが可能なバージョン1.1と、高精細の静止画の再生やPBC(プレイバックコントロール)機能を持ったバージョン2.0がある。

プレイバックコントロール(PBC)

ビデオCD(バージョン2.0)に記録されている、再生をコントロールするための信号。

PBC対応ビデオCDに記録されているメニュー画面(選択画面)を使って、簡単な対話型のソフトや、検索機能を持ったソフトなどを楽しめる。

マルチアングル

DVDの機能のひとつで、同じ場面が視点を変えて複数のアングル(カメラの位置)で記録されていること。

マルチランゲージ

DVDの機能のひとつで、同じ映像に対して音声や字幕が複数の言語で記録されていること。

DTS

デジタルシアターシステムズ社の開発した音声のデジタル圧縮技術であり、5.1チャンネル・サラウンドに対応している。全チャンネルが完全に分離した状態で記録されるのでチャンネル間セパレーションがよく、全てデジタルで受け渡しされるので劣化しにくいという特長がある。

DVD

CDと同じ直径で、最大8時間までの動画が記録できるディスク。

片面1層で4.7GB(Giga Byte)とCDの7倍の情報が記録でき、片面2層で8.5GB、両面1層では9.4GB、両面2層では17GBが記録できる。

画像の記録はデジタル圧縮技術の世界標準規格のひとつ、「MPEG2」(エムペグ2)を採用し、映像データを約1/40(平均)に圧縮して記録する。また画像の状態に合わせて割り当てる情報量を変化させる可変レート符号化技術も採用されている。音声情報はPCMの他、ドルビーデジタル(AC-3)を用いて記録でき、より臨場感のある音声が楽しめる。

またマルチアングル、マルチランゲージなどさまざまな付加機能も用意され、より高度な楽しみかたができる。

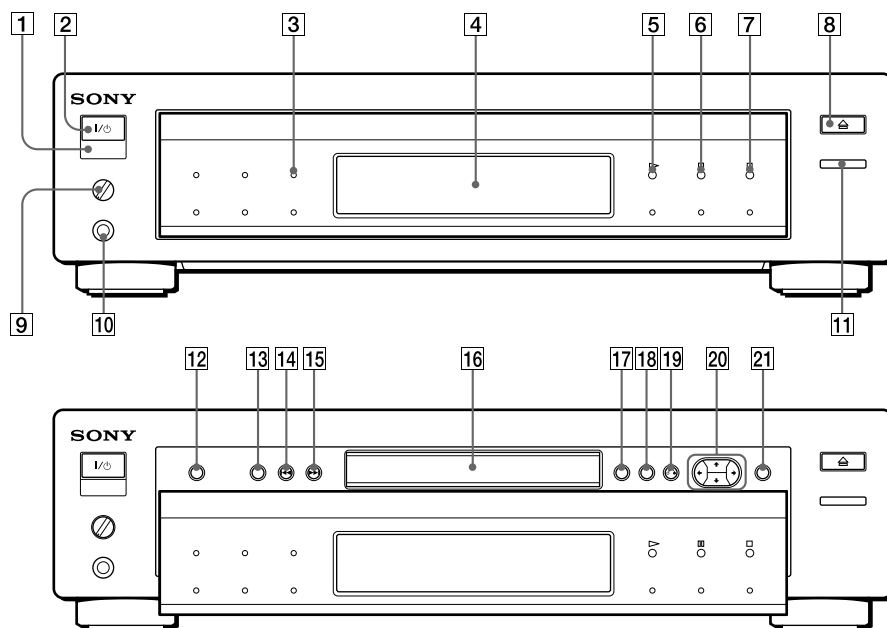
MPEGオーディオ

ISO/ISCでまとめられたオーディオ信号のデジタル圧縮の国際標準規格。MPEG1は2チャンネルのステレオに対応し、DVDで使われているMPEG2は7.1チャンネルまでのサラウンドに対応している。

各部のなまえ

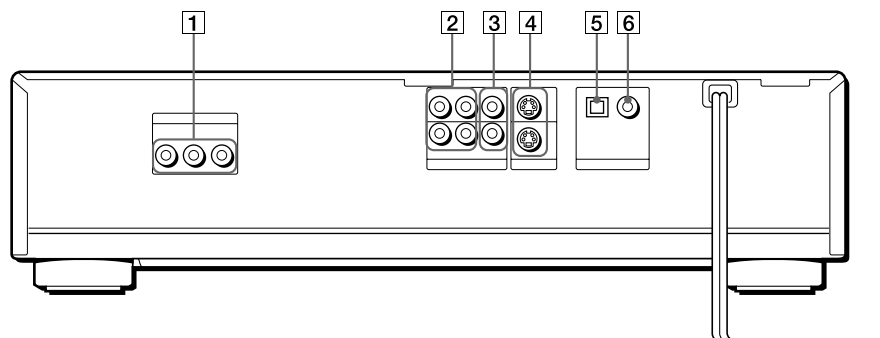
詳しい説明は()内のページをご覧ください。

本体前面



- ① (リモコン受光部) (12)
リモコンからの信号を受信する。
- ② I/⏻スイッチとランプ (16、20)
電源を入/切するときに押す。
- ③ DTSインジケーター (16、20、38)
DVDのDTSの音声トラックを再生中に点灯する。
- ④ 表示窓 (26)
再生時間などを表示する。
- ⑤ ▷ PLAY(再生)ボタン (16、20)
再生するときに押す。
- ⑥ ⏏ PAUSE(一時停止)ボタン (17、21)
再生を一時停止するときに押す。
- ⑦ □ STOP(停止)ボタン (17、21、31)
再生を止めるときに押す。
- ⑧ 〽OPEN/CLOSE(開/閉)ボタン (16、20)
ディスクトレイを出し入れするときに押す。
- ⑨ PHONE LEVEL(ヘッドホン音量)つまみ (16、20)
ヘッドホンの音量を調節する。
- ⑩ PHONES(ヘッドホン)端子 (16、20)
ヘッドホンをつなぐ。
- ⑪ UP/DOWN(パネル開閉)ボタン (16、20)
前面パネルを開閉するときに押す。
- ⑫ SET UP(設定)ボタン (41)
SET UP(設定)画面の項目を設定/調整するときに使う。
- ⑬ ディスプレイ DNRボタン (32)
画面のちらつきノイズをおさえたいときに押す。
- ⑭ ◀◀ PREV(前)ボタン (17、21)
前の場面や曲に戻すときに押す。
- ⑮ ▶▶ NEXT(次)ボタン (17、21)
次の場面や曲に進めるときに押す。
- ⑯ ディスクトレイ (16、20)
再生するディスクを入れる。
- ⑰ TITLE(タイトル)ボタン (19)
タイトルメニューを出すときに押す。
- ⑱ DVD MENU(DVDメニュー)ボタン (19)
DVDメニューを出すときに押す。
- ⑲ ↶ RETURN(リターン)ボタン (23)
おもにひとつ前の選択画面に戻りたいときに押す。
- ⑳ ◀ / ▶ / ⏮ / ⏭ ボタン
画面に表示されている項目を選ぶときに使う。
- ㉑ ENTER(決定)ボタン
選んだ項目を決定するときに押す。

本体裏面



- 1** COMPONENT VIDEO OUT(コンポーネントビデオ出力)端子(13)

本機の出力信号に対応したコンポーネントビデオ入力端子(Y、Cb/B-Y、Cr/R-Y)のあるテレビやプロジェクターにつなぐときに使う。
- 2** LINE OUT(AUDIO 1, 2)(音声出力)端子(13)

テレビやアンプの音声入力端子とつなぐときに使う。
- 3** LINE OUT(VIDEO1, 2)(映像出力)端子(13)

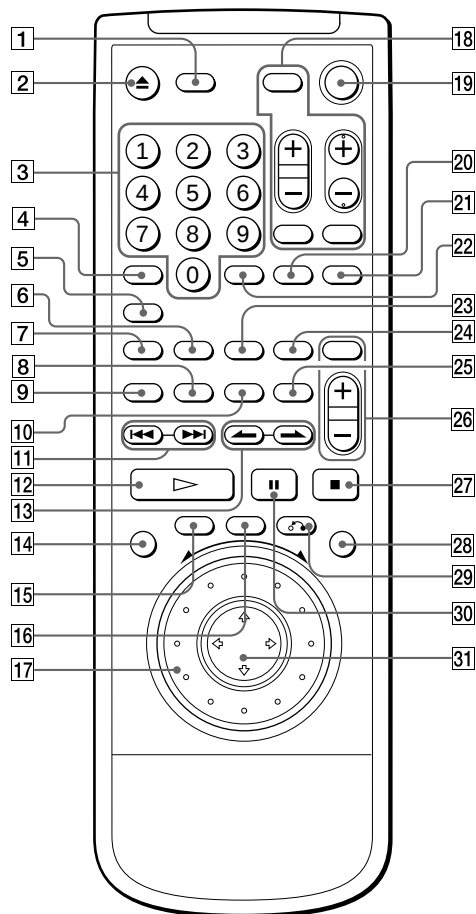
テレビやモニターの映像入力端子とつなぐときに使う。
- 4** S VIDEO OUT1, 2(S映像出力)端子(13)

テレビやビデオのS映像入力端子とつなぐときに使う。
- 5** DIGITAL OUT(OPTICAL)(音声デジタル出力(光))端子(14、38)

光デジタル接続ケーブルでオーディオ機器とつなぐときに使う。
- 6** DIGITAL OUT(COAXIAL)(音声デジタル出力(同軸))端子(14、38)

同軸デジタル接続ケーブルでオーディオ機器とつなぐときに使う。

リモコン



- 1 画面表示ボタン (24)
現在の再生状態を画面に表示させるときに押す。
- 2 ▲(開/閉)ボタン (16、20)
ディスクトレイを出し入れするときには押す。
- 3 数字ボタン (17、21)
画面に表示されている項目を選ぶときに使う。
- 4 サーチモードボタン (17、21)
サーチをする単位(タイトル、チャプター、トラックなど)を選ぶときに使う。
- 5 DNRボタン (32)
画面のちらつきノイズをおさえたいときに押す。
- 6 プログラムボタン (30)
プログラム再生したいときに使う。
- 7 シャッフルボタン (27)
シャッフル再生したいときに使う。
- 8 アングル切換ボタン (33)
DVDのアングルを切り換えるときに押す。
- 9 音声切換ボタン (32)
DVDやビデオCDの音声を切り換えるときに押す。
- 10 字幕切換ボタン (33)
DVDの字幕を切り換えるときに押す。

- 11 ◀◀(前)/▶▶(次)ボタン (17、21)
前の場面や曲に戻したり、次の場面や曲に進めたりするときに押す。
- 12 ▷(再生/セレクト)ボタン (16、20)
再生するときに押す。
- 13 ◀/▶(インデックス)ボタン(21)
ビデオCDやCDで再生するインデックスを選ぶときに使う。
- 14 設定ボタン (41)
SET UP(設定)画面の項目を設定/調整するときには使う。
- 15 タイトルボタン (19)
タイトルメニューを出すときに押す。
- 16 DVDメニューボタン (19)
DVDメニューを出すときに押す。
- 17 クリックシャトル(18、22)
主に速さを変えながら再生したいときに使う。
- 18 テレビ操作ボタン (36)
テレビを操作するときには使う。
- 19 電源ボタン (16、20)
本機の電源を入/切するときには押す。
- 20 クリアボタン (26、27、29)
選んだ数字を取り消すときに使う。
- 21 時間表示ボタン (24、26)
表示窓に再生時間などを表示させるときには押す。
- 22 決定ボタン
選んだ項目を決定するときには押す。
- 23 くり返しボタン (28)
リピート再生したいときに使う。
- 24 A↔Bボタン (29)
再生したい部分だけをくり返すときに使う。
- 25 字幕入/切ボタン (33)
DVDの字幕表示を入/切するときには押す。
- 26 アンプ操作ボタン (36)
AVアンプを操作するときには使う。
- 27 ■(停止)ボタン (17、21)
再生を止めるときには押す。
- 28 ジョグボタン(18、22)
手で速さを変えながら再生したいときに押す。
- 29 ⌂ リターンボタン (23)
ひとつ前の選択画面に戻りたいときに押す。
- 30 ||(一時停止)ボタン (17、21)
再生を一時停止するときには押す。
- 31 ◀/▶/⏮/⏭/決定ボタン
矢印で画面に表示されている項目を選び、決定ボタンを押して決定する。

設定画面一覧表

お買い上げ時は下線の付いている項目に設定されています。

言語設定 (42ページ)

- 画面表示言語 —
 - 日本語
 - ENGLISH
- DVDメニュー言語 —
 - 日本語
 - 英語
 - 中国語
 - ドイツ語
 - フランス語
 - イタリア語
 - スペイン語
 - ポルトガル語
 - オランダ語
 - その他 →
- 音声言語 —
 - オリジナル
 - (DVDメニュー言語と同じ)
- 字幕言語 —
 - 日本語
 - 音声連動
 - (DVDメニュー言語の「英語」以下と同じ)

1 初期設定 1 (43ページ)

- TVタイプ —
 - 16:9
 - 4:3 レターボックス
 - 4:3 パンスキャン
- 自動再生 —
 - 切
 - タイマー
 - デモ 1
 - デモ 2
- 表示窓の明るさ —
 - 明
 - 暗
 - 消
- 背景画面 —
 - 青
 - 黒
- スクリーンセーバー —
 - 入
 - 切
- 視聴年齢制限 (34ページ)

2 初期設定 2 (44ページ)

- 音声トラック自動選定モード —
 - 切
 - 入
- サラウンド —
 - 入
 - 切
- オーディオDRC —
 - 切
 - 入
- オーディオATT —
 - 切
 - 入
- オーディオフィルター —
 - シャープ
 - スロー

3 初期設定 3 (45ページ)

- 音声デジタル出力 —
 - 入
 - 切
- ドルビーデジタル —
 - ダウンミックスPCM
 - ドルビーデジタル
- MPEG —
 - PCM
 - MPEG
- DTS —
 - 切
 - 入

言語コード一覧表 (くわしくは42ページをご覧ください。)

言語名表記はISO639:1988 (E/F) に準拠

コード	言語	コード	言語	コード	言語
1027	Afar	1257	Hebrew	1506	Slovenian
1028	Abkhazian	1261	Japanese	1507	Samoan
1032	Afrikaans	1269	Yiddish	1508	Shona
1039	Amharic	1283	Javanese	1509	Somali
1044	Arabic	1287	Georgian	1511	Albanian
1045	Assamese	1297	Kazakh	1512	Serbian
1051	Aymara	1298	Greenlandic	1513	Siswati
1052	Azerbaijani	1299	Cambodian	1514	Sesotho
1053	Bashkir	1300	Kannada	1515	Sundanese
1057	Byelorussian	1301	Korean	1516	Swedish
1059	Bulgarian	1305	Kashmiri	1517	Swahili
1060	Bihari	1307	Kurdish	1521	Tamil
1061	Bislama	1311	Kirghiz	1525	Telugu
1066	Bengali; Bangla	1313	Latin	1527	Tajik
1067	Tibetan	1326	Lingala	1528	Thai
1070	Breton	1327	Laothian	1529	Tigrinya
1079	Catalan	1332	Lithuanian	1531	Turkmen
1093	Corsican	1334	Latvian; Lettish	1532	Tagalog
1097	Czech	1345	Malagasy	1534	Setswana
1103	Welsh	1347	Maori	1535	Tonga
1105	Danish	1349	Macedonian	1538	Turkish
1109	German	1350	Malayalam	1539	Tsonga
1130	Bhutani	1352	Mongolian	1540	Tatar
1142	Greek	1353	Moldavian	1543	Twi
1144	English	1356	Marathi	1557	Ukrainian
1145	Esperanto	1357	Malay	1564	Urdu
1149	Spanish	1358	Maltese	1572	Uzbek
1150	Estonian	1363	Burmese	1581	Vietnamese
1151	Basque	1365	Nauru	1587	Volapük
1157	Persian	1369	Nepali	1613	Wolof
1165	Finnish	1376	Dutch	1632	Xhosa
1166	Fiji	1379	Norwegian	1665	Yoruba
1171	Faroese	1393	Occitan	1684	Chinese
1174	French	1403	(Afan)Oromo	1697	Zulu
1181	Frisian	1408	Oriya		
1183	Irish	1417	Punjabi		
1186	Scots Gaelic	1428	Polish	1703	Not specified
1194	Galician	1435	Pashto; Pushto		
1196	Guarani	1436	Portuguese		
1203	Gujarati	1463	Quechua		
1209	Hausa	1481	Rhaeto-Romance		
1217	Hindi	1482	Kirundi		
1226	Croatian	1483	Romanian		
1229	Hungarian	1489	Russian		
1233	Armenian	1491	Kinyarwanda		
1235	Interlingua	1495	Sanskrit		
1239	Interlingue	1498	Sindhi		
1245	Inupiak	1501	Sangho		
1248	Indonesian	1502	Serbo-Croatian		
1253	Icelandic	1503	Singhalese		
1254	Italian	1505	Slovak		

五十音順

あ行

アングル切り換え 33
 安全のために 2、4
 お手入れ 47
 オーディオATT 44
 オーディオDRC 44
 オートポーズ 26
 音声切り換え 32
 音声デジタル出力 45

か行

故障かな?と思ったら 48

さ行

サーチ 17、21
 再生
 シャッフル再生 29
 速さを変えて再生 18、22
 ふつうの再生 16、20
 プログラム再生 30
 リピート再生 28
 再生できるディスク 10
 視聴年齢制限 34、52
 自動再生 43
 字幕
 切り換え 33
 表示 33
 シャッフル再生 29
 シャトルモード 18、22
 初期設定 43、44、45
 ジョグモード 18、22
 シーン 11、21
 スクリーンセーバー 43
 スロー 18、22
 接続 12

た行

タイトル 11、52
 タイトルメニュー 19
 チャプター 11、52
 つづき再生 31
 ディスク
 入れる 16、20
 取り扱い 47
 取り出す 17、21
 テレビ画面に出る表示
 ビデオCD 25
 CD 25
 DVD 24
 電池 12
 トラック 11、52
 ドルビーデジタル(AC-3) 38、52

は行

早送り 18、22
 早戻し 18、22
 パンスキャン 43
 ビデオCD 20
 表示窓 26
 ふつうの再生 16、20
 プレイバックコントロール
 11、23
 ブレイモード 24
 プログラム再生 30

ら行

リピート再生 28
 現在のタイトル、チャプター
 /トラック 28
 ディスク全体 28
 特定の部分のみ 29
 リモコン 12、36
 レターボックス 43

アルファベット順

A↔Bリピート 29
 CD 20
 DVD 16
 DVDメニュー 19
 DTS 38、52
 MPEGオーディオ 38、52
 PBC再生 23
 S映像出力 13
 SET UP(設定)画面 41、56
 言語設定 42
 視聴年齢制限 34
 初期設定 43、44、45
 使いかた 41

Sony online

<http://www.world.sony.com/>

「Sony online」は、インターネット上のソニーのエレクトロニクスとエンターテインメントのホームページです。

この説明書は再生紙を使用しています。

Printed in Japan

保証期間中の接続・操作・故障に関するお問い合わせは
 テクニカルインフォメーションセンターへ

フリーダイヤル 0120-37-8154

受け付け時間 午前9時～午後5時

(年末、年始、祝日、土、日を除く毎日)

ご購入の初期に不具合が見つかった場合、必要に応じて、
 ご希望の日時に引き取り修理または交換品のお届けをいたします。

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

●東京(03)5448-3311 ●名古屋(052)232-2611 ●大阪(06)6539-5111